

資料編

資料 1 第三次十日町市環境基本計画策定の経過

資料 2 市民・事業者アンケート調査結果

資料 3 用語説明

資料 1 計画策定の経過

■住みよい環境づくり審議会委員

(敬称略、順不同)

区分	所属	氏名
識見を有する者	越後松之山「森の学校」キョロロ	福原 諭祐
	十日町市理科教育センター	喜多 孝行
	新潟県自然観察指導員	南雲 敏夫
関係行政機関	新潟県南魚沼地域振興局 健康福祉環境部 環境センター	西生 順
	十日町保健所 衛生環境課	諏合 克美
関係公共的団体	十日町地域森林組合	太田 耕司
	魚沼農業協同組合	池田 千文
	十日町商工会議所	佐野 比呂史
	十日町市消費者協会	山賀 とし
	魚沼農業協同組合女性部	田村 悦子
民間関係団体	イオン十日町	竹内 玲子
	十日町市民環境会議	水落 良孝
公募	新潟県地球温暖化防止活動推進員	徳井 雅司

■十日町市民環境会議（運営委員会）

(敬称略、順不同)

区分	氏名	所属部会
会長	水落 良孝	自然環境保全部会、再生可能エネルギー利活用部会
委員	相馬 博	自然環境保全部会
委員	澁谷 雅裕	自然環境保全部会、地球温暖化対策部会
委員	遠田 努	再生可能エネルギー利活用部会
委員	小泉 等	再生可能エネルギー利活用部会
委員	有坂 弘	再生可能エネルギー利活用部会
委員	山賀 とし	地球温暖化対策部会
委員	徳井 雅司	地球温暖化対策部会
委員	高橋 ユキノ	地球温暖化対策部会

■事務局

環境エネルギー部 環境衛生課

■第三次十日町市環境基本計画等策定経過

開催年月日		名称	協議内容等
令和7 (2025) 年	3月26日	令和6年度 住みよい環境づくり審議会	次年度スケジュールに関する説明
	5月30日	十日町市民環境会議 総会	計画策定に関する説明
	8月20日	総合計画策定委員会	環境基本計画（骨子）の協議
	8月27日	総合計画策定委員会	環境基本計画（骨子）の協議
	9月26日	十日町市民環境会議 運営委員会	施策案説明、現状と課題に関する意見交換
	9月19日 ～ 10月10日	十日町市の環境に関する 市民・事業者意識調査の実施 (市民アンケート)	調査対象 市民：1,000人 事業者：100事業所 (無作為抽出により実施)
	12月18日	令和7年度 第1回 住みよい環境づくり審議会	計画概要、施策体系案の説明
令和8 (2026) 年	1月30日	令和7年度 第2回 住みよい環境づくり審議会	計画（素案）の諮問 審議（質問・意見等）
	2月2日	庁議（報告）	計画（素案）の説明
	2月12日	市議会 産業建設常任委員会	計画（素案）の説明
	2月13日 ～ 2月27日	パブリックコメント	市役所・各支所・公民館等で実施
	3月6日	令和7年度 第3回 住みよい環境づくり審議会	計画書（案）の審議

■パブリックコメントの実施状況

令和8（2026）年2月13日から令和8（2026）年2月27日まで、「第三次十日町市環境基本計画等（素案）」のパブリックコメントを実施しました。

資料 2 市民・事業者アンケート調査結果

十日町市の環境に関する市民・事業者意識調査結果

調査の目的

第三次十日町市環境基本計画策定にあたり、市民及び事業所の環境に対する考え方や今後の環境行政に望むこと等を明らかにし、その意向や視点を計画に反映させるための基礎資料とすることを目的として実施しました。

調査対象

- 【市民】20歳以上の市民の中から無作為に選んだ1,000人を対象
- 【事業者】市内の事業所から無作為に選んだ100事業所を対象

調査方法

調査票及びWeb回答

調査方法及び調査時期

- 【市民】令和7（2025）年9月19日郵送、令和7（2025）年10月10日返信期日
- 【事業者】令和7（2025）年9月19日郵送、令和7（2025）年10月10日返信期日

回収結果

回収及び回収率は以下の通りです。

【-Web及び調査票による回収状況】

対象	調査方法		合計
	Web	調査票	
市民	130人	368人	498人
事業者	8社	44社	52社

【市民 事業者の回収率】

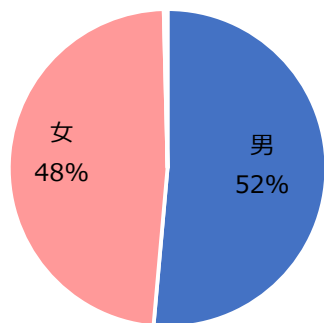
対象	市民	業者	合計
回収数	498人	52社	550通
配布数	1,000人	100社	1100通
回収率	49.8%	52.0%	50.0%

【十日町市の環境に関するアンケート】市民アンケート調査結果

I : あなたご自身のことについておたずねします。

1) 性別

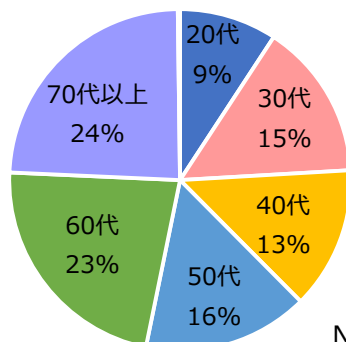
「男性」が52%、「女性」は48%となっています。



N=498

2) 年齢

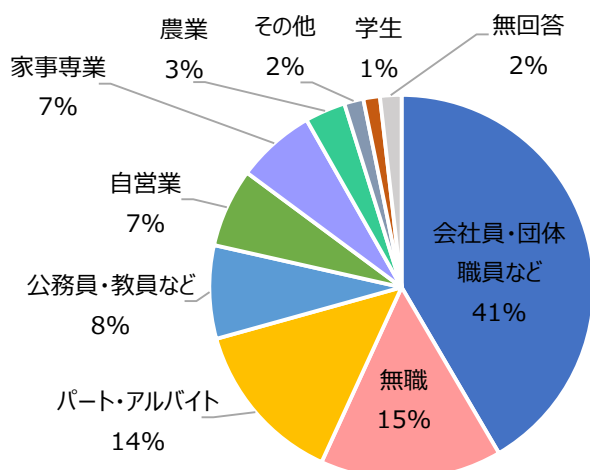
「70代」の24%が最も多く、次いで「60代」が23%となっています。一方、最も少ない回答率は「20代」で9%となっています。



N=498

3) 職業

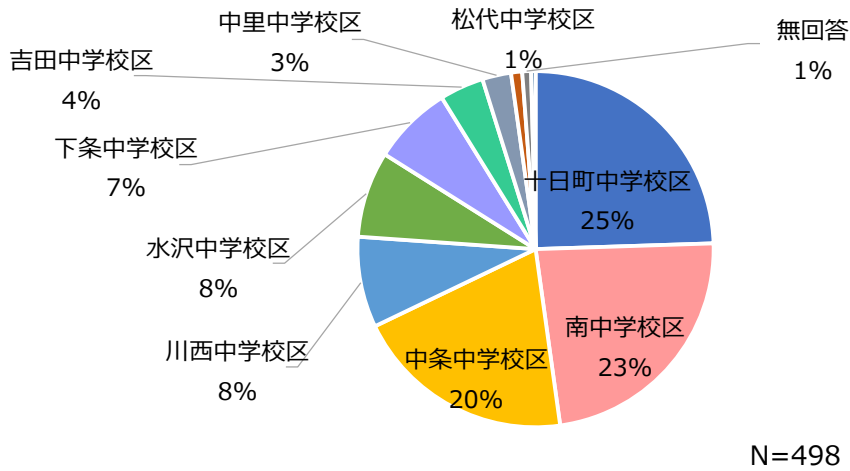
「会社員・団体職員など」が41%と最も多く、次いで「無職」が15%、「パート・アルバイト」が14%と続いています。



N=498

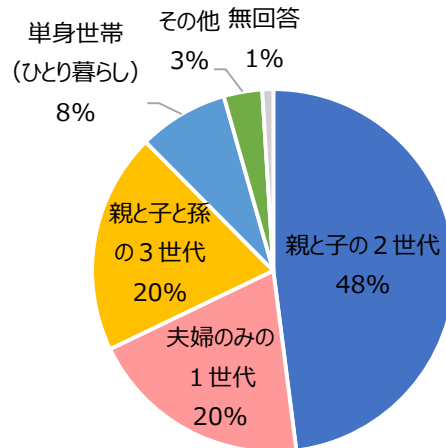
4) お住まいの地域

「十日町中学校区」が25%と最も多く、次いで「南中学校区」が23%となっています。



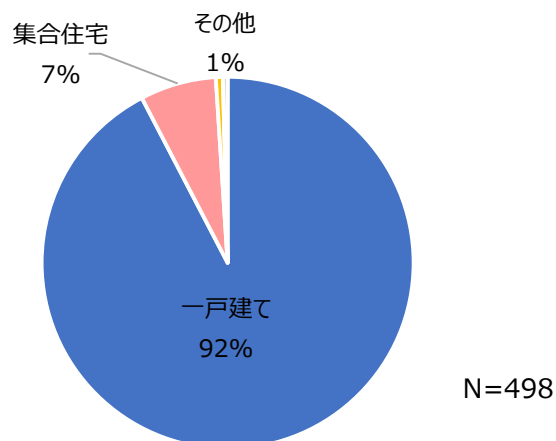
5) 家族構成

「親と子の2世代」が48%と、全体の約半数を占めています。



6) お住まいの住宅

「一戸建て」が92%と最も多く、9割以上を占めています。

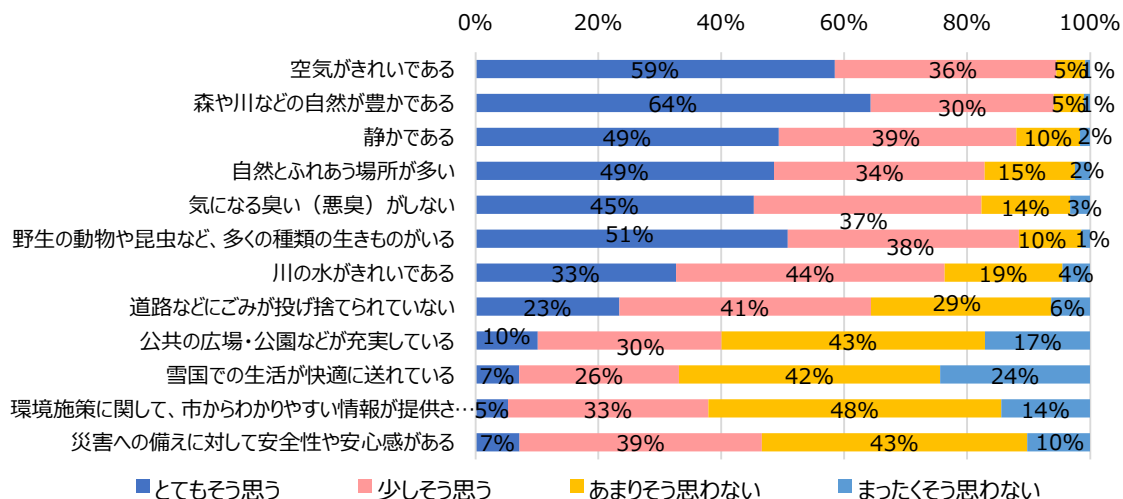


Ⅱ：環境に対する考え方行動についておたずねします。

1) あなたは、次のような身のまわりの環境について、どう思っていますか。
あなたのお考えに最も近い番号(1~4)を各項目からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 489~494人(項目によって異なる)】

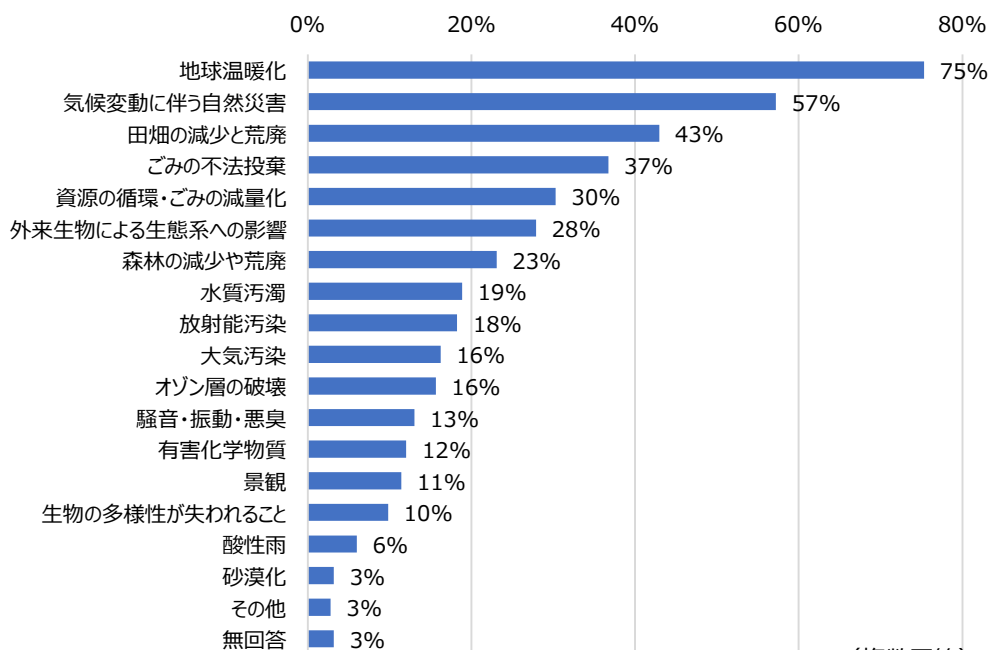
- ▶ 「とてもそう思う」が5割を超えたのは「空気がきれいである」が59%、「森や川などの自然が豊かである」が64%で、「少しそう思う」を合わせると約95%を占めています。
- ▶ 一方、「まったくそう思わない」では「雪国での生活が快適に送れている」が最も多く、24%となっています。



2) あなたが関心のある(興味がある、心配している)環境問題は何ですか。
当てはまるものすべてに、○をつけてください。

【有効回答 498人】

- ▶ 最も多かった回答は「地球温暖化」の75%であり、次いで「気候変動に伴う自然災害」が57%、「田畑の減少と荒廃」が43%となっています。
- ▶ 一方、最も少なかった回答は「砂漠化」の3%となっています。

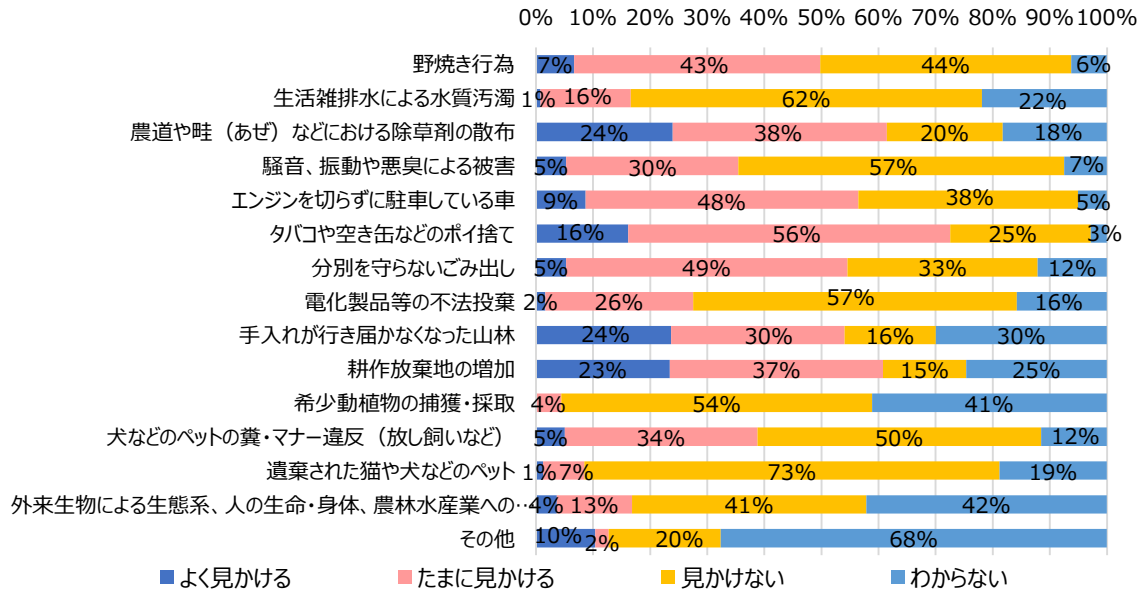


N=498 (複数回答)

3) あなたの身のまわりで、環境上の問題課題を目にすることはありますか。該当する番号(1~4)を各項目からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 493~496人(項目によって異なる)】

- ▶ 「よく見かける」で最も多かった回答は、「農道や畦(あぜ)などにおける除草剤の散布」と「手入れが行き届かなくなった山林」の24%であり、次いで「耕作放棄地の増加」が共に23%と続いています。
- ▶ 「見かけない」で最も多かった回答は、「遺棄された猫や犬などのペット」で73%となっています。



- ▶ 「その他」で「よく見かける」「たまに見かける」といった意見については、下記に示します。

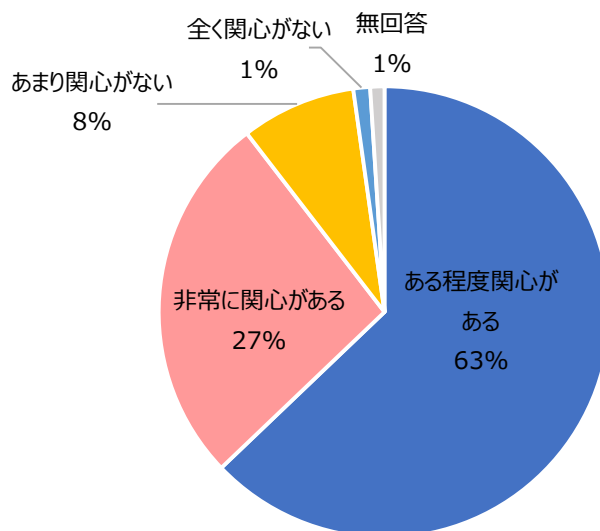
・くま
・太陽光パネル等の過剰な設置
・企業の煙害
・原発の問題
・動物に対する虐待
・野生動物が多くなり被害大
・空家放棄が目立つ
・キナーレ駐車場で夜間駐車による大型車によるアイドリング騒音と排気ガス。
・越後交通車庫でバスの洗車時の洗剤液を側溝に垂れ流している。
・水田への家庭ごみの不法投棄または山林で不法投棄が多くある。
・またペットの汚物を回収しない
・農薬、除草剤による環境汚染。
・鳥獣害
・ごみが公共の場に捨てられている事
・田畑の減少と荒廃

Ⅲ：あなたの「地球温暖化問題」に対するお考えについておたずねします。

1) あなたは、「地球温暖化」に対して、どの程度関心がありますか。
最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

▶「非常に関心がある」が27%、「ある程度関心がある」が63%であり、合わせると約90%の方が「関心がある」と回答しています。

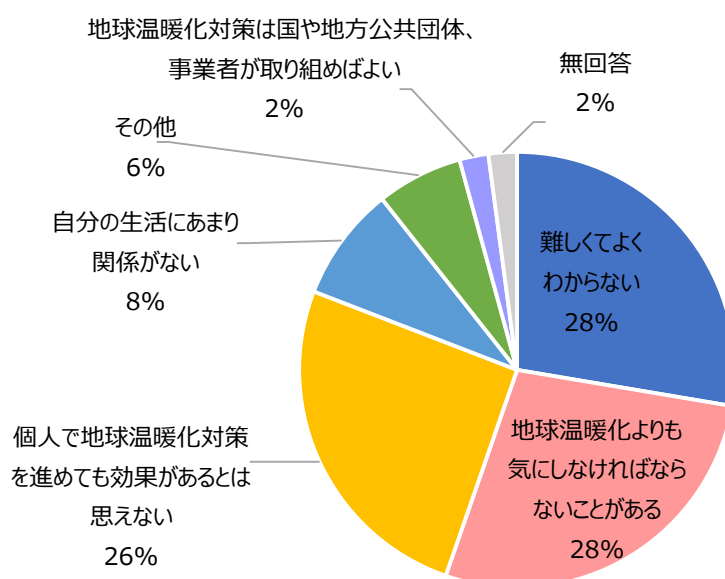


N=498

2) 1) で「3. あまり関心がない」「4. 全く関心がない」を選んだ方のみ、お答えください。関心がない大きな理由は何ですか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 47人】

▶関心がない大きな理由として、「難しくてよくわからない」と「地球温暖化よりも気にしなければならないことがある」が28%を占めています。

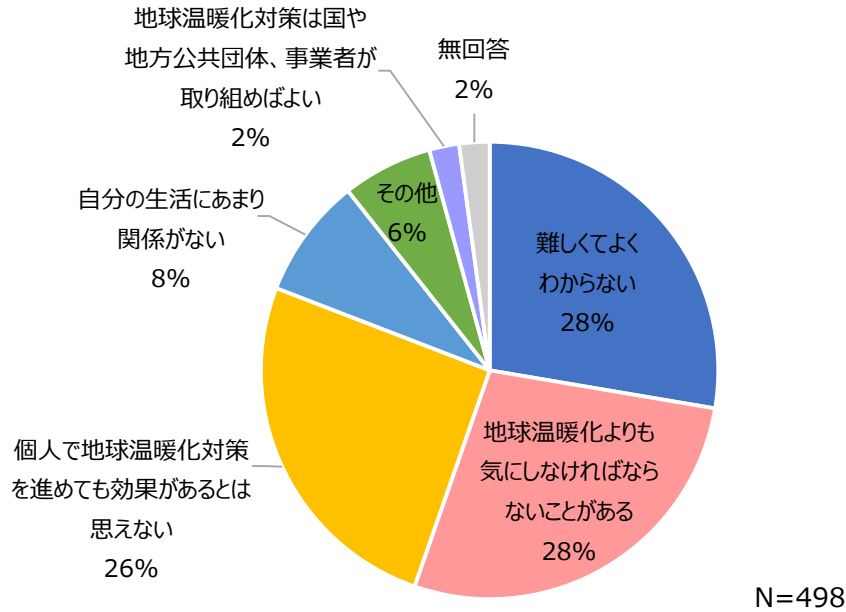


N=47

3) 市内全域が一体となって地球温暖化防止に向けた行動を進めるために、重要と考えものは何ですか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

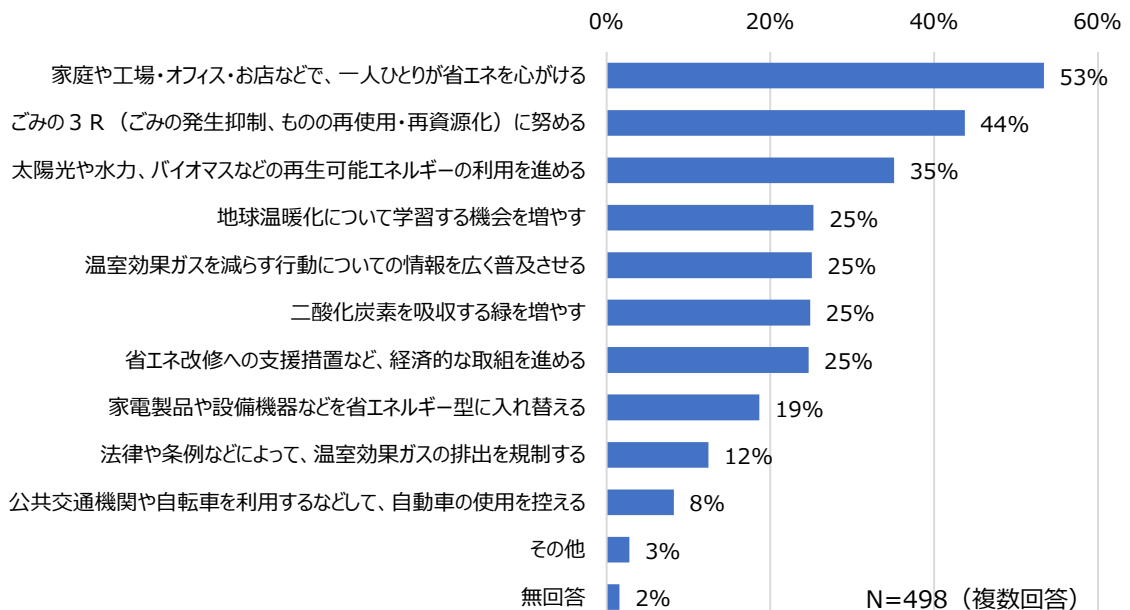
▶ 市民、事業者、市が連携して取り組むべきである」が54%と最も多く、次いで「市民一人ひとりが生活様式を見直していくべきである」が21%となっており、2つの回答を合わせると全体の75%を占めています。



4) 地球温暖化防止のために温室効果ガスの排出を減らす取り組みとして、どのような取り組みが必要だとお考えですか。必要だと考える取り組みの番号を3つ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

▶ 「家庭や工場・オフィス・お店などで、一人ひとりが省エネを心がける」が53%と最も多く、次いで「ごみの3R[※]（ごみの発生抑制、ものの再使用・再資源化）に努める」が44%、「太陽光や水力、バイオマスなどの再生可能エネルギーの利用を進める」が35%と続いています。

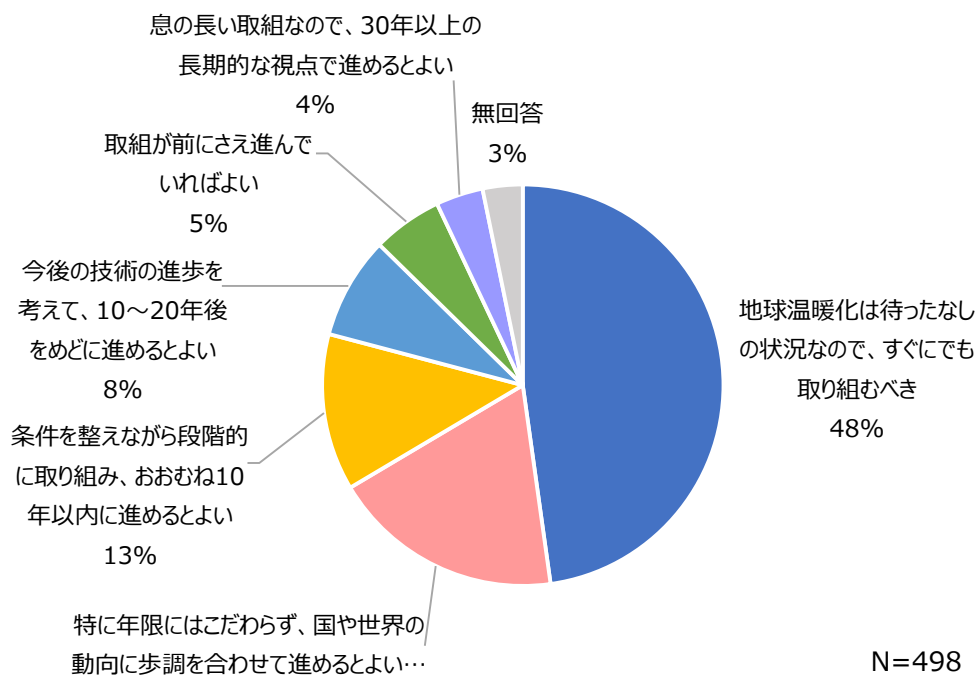


5) 4) であなたが選んだ取り組みは、いつ頃をめどに進めていくのがよいとお考えですか。

最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

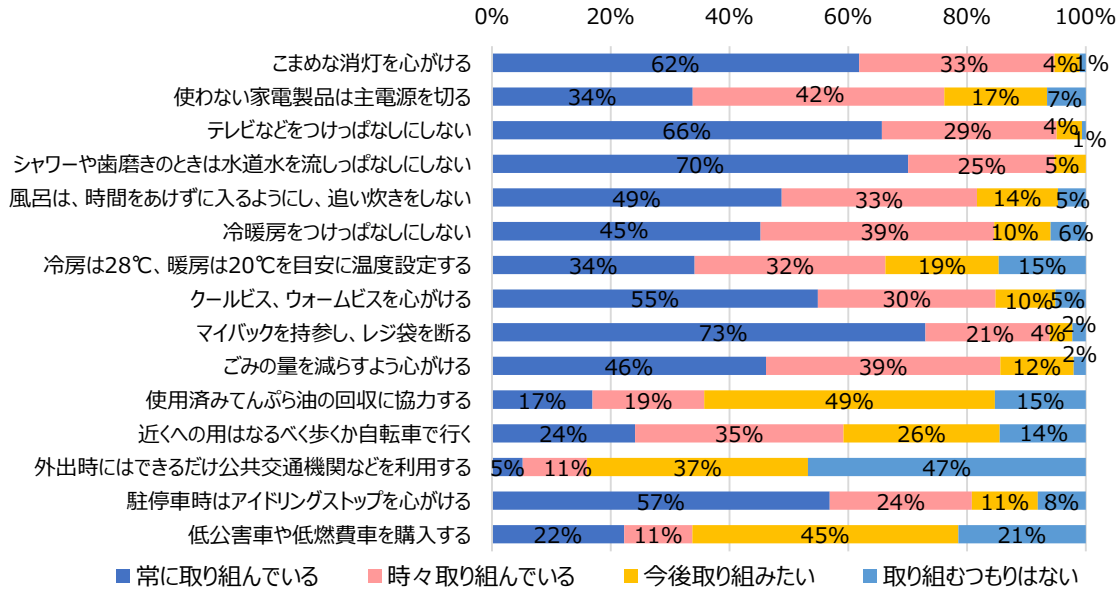
【有効回答 498人】

▶最も多い回答は「地球温暖化は待ったなしの状況なので、すぐにでも取り組むべき」の48%と、全体の約半数を占めています。



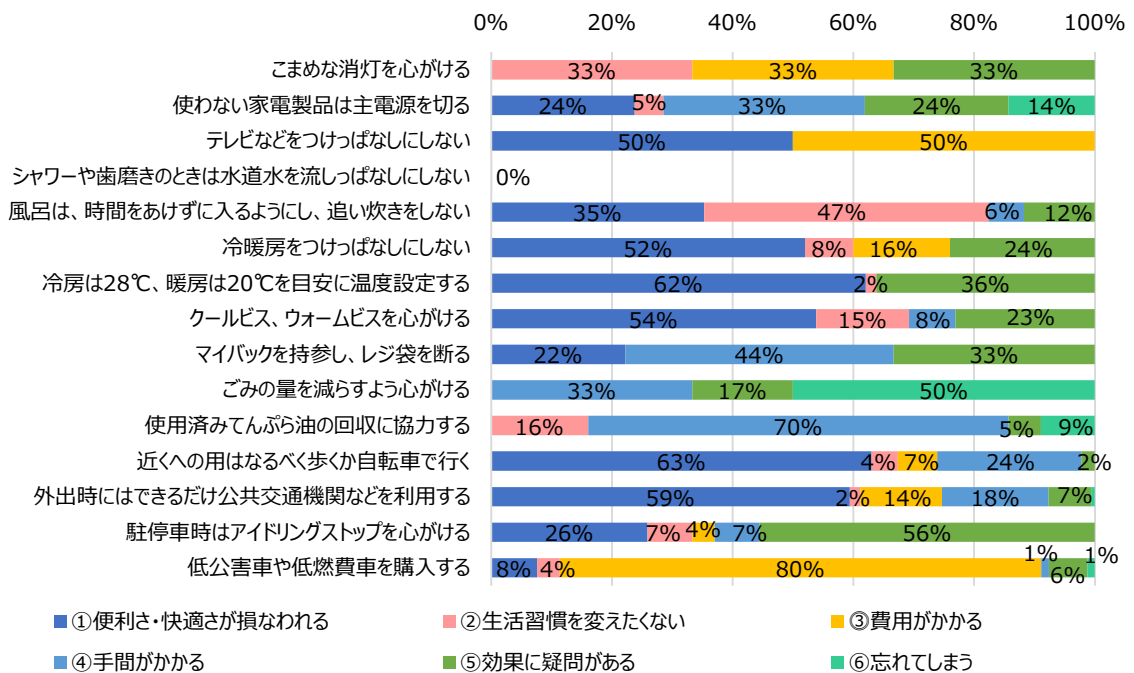
6) 地球温暖化防止のため、日常生活の中で取り組んでいることは何ですか。あなたの行動に最も近い番号(1~4)を各項目からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。
【有効回答 480~495人(項目によって異なる)】

- ▶ 「常に取り組んでいる」で最も多かった回答は、「マイバックを持参し、レジ袋を断る」の73%であり、次いで「シャワーや歯磨きのときは水道水を流しっぱなしにしない」が70%と、比較的取り組みやすい行動が70%を超える結果となっています。
- ▶ 一方、「取り組むつもりはない」で最も多かった回答は、「外出時にはできるだけ公共交通機関などを利用する」の47%となっています。



また、「取り組むつもりはない」を選んだ方は、「取り組みを妨げる理由」を①~⑥から選び、その番号を回答欄に記入してください。
【有効回答 0~170人(項目によって異なる)】

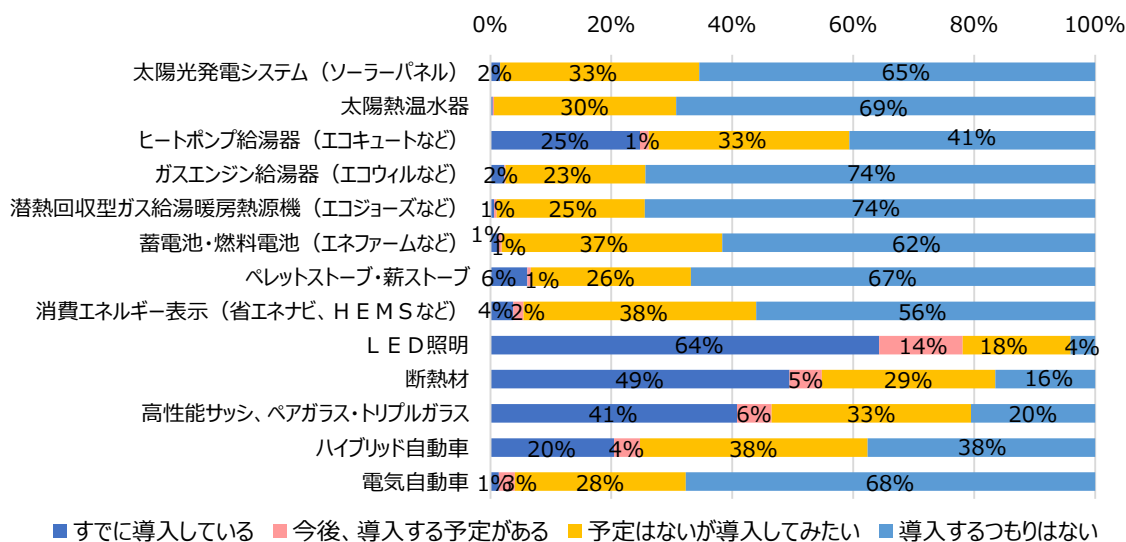
- ▶ 取り組みを妨げる理由として、「①便利さ・快適さが損なわれる」「⑤効果に疑問がある」への回答が多くなっています。また「③費用がかかる」「④手間がかかる」といった理由もあげられます。



7) あなたがお住まいの家に、省エネルギーや再生可能エネルギーを考慮した設備を導入済み、または今後、導入する予定はありますか。それぞれの設備について、お住まいの状況に最もあてはまる番号（1～4）を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 473～493人（項目によって異なる）】

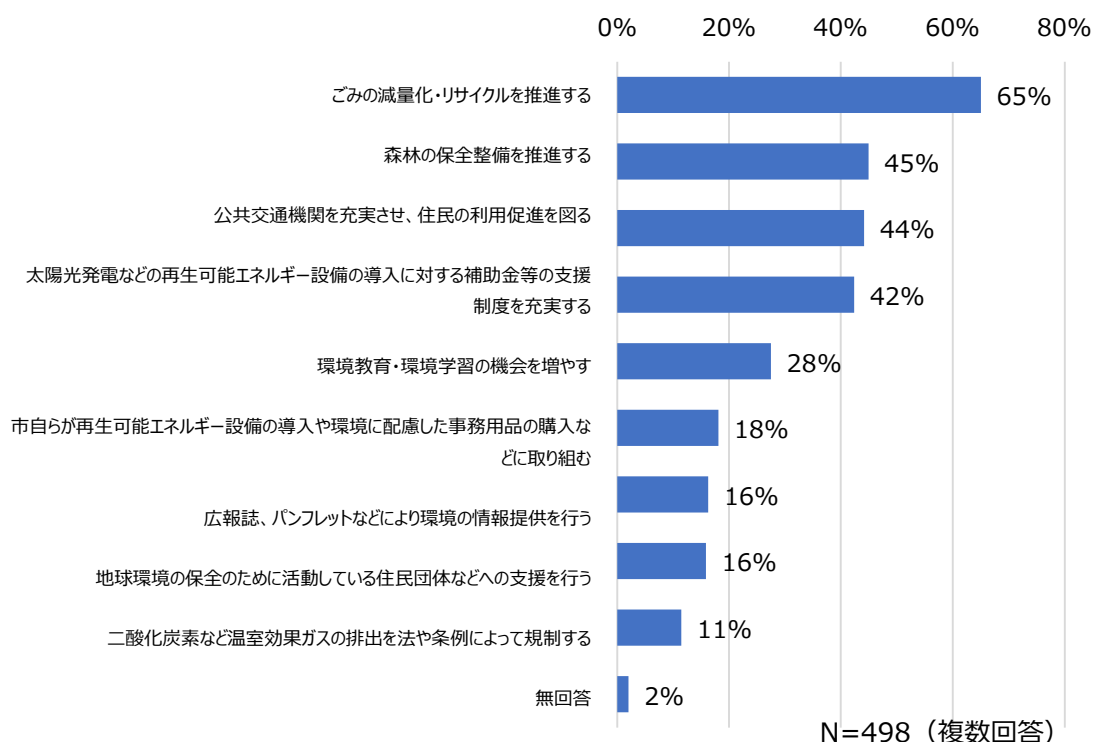
- ▶ 「すでに導入している」が最も多かったのは「LED照明」の64%であり、次いで「断熱材」が49%、「高性能サッシ、ペアガラス・トリプルガラス」が41%と続いています。
- ▶ 一方、「導入するつもりはない」が最も多かった設備は、「潜熱回収型ガス給湯暖房熱源機（エコジョーズなど）」、「蓄電池燃料電池（エネファームなど）」の74%となっています。



8) 地球温暖化防止のために、十日町市に対して期待していることは何ですか。あてはまる番号を3つ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

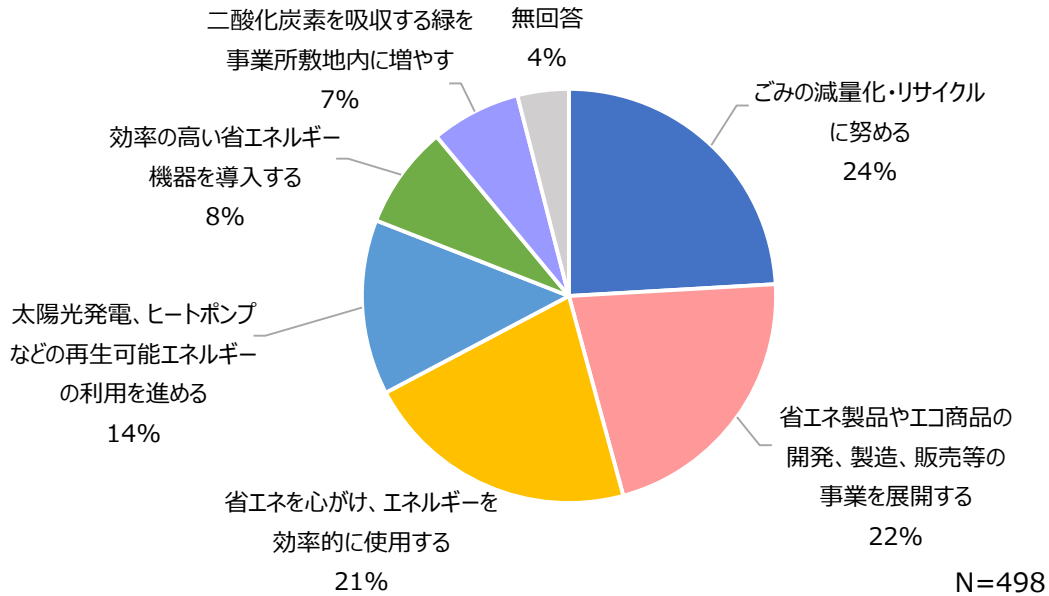
- ▶ 「ごみの減量化・リサイクルを推進する」が65%と最も多く、次いで「森林の保全整備を推進する」が45%、「公共交通機関を充実させ、住民の利用促進を図る」が44%となっています。



9) 地球温暖化防止のために、事業者に対して期待していることは何ですか。
最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

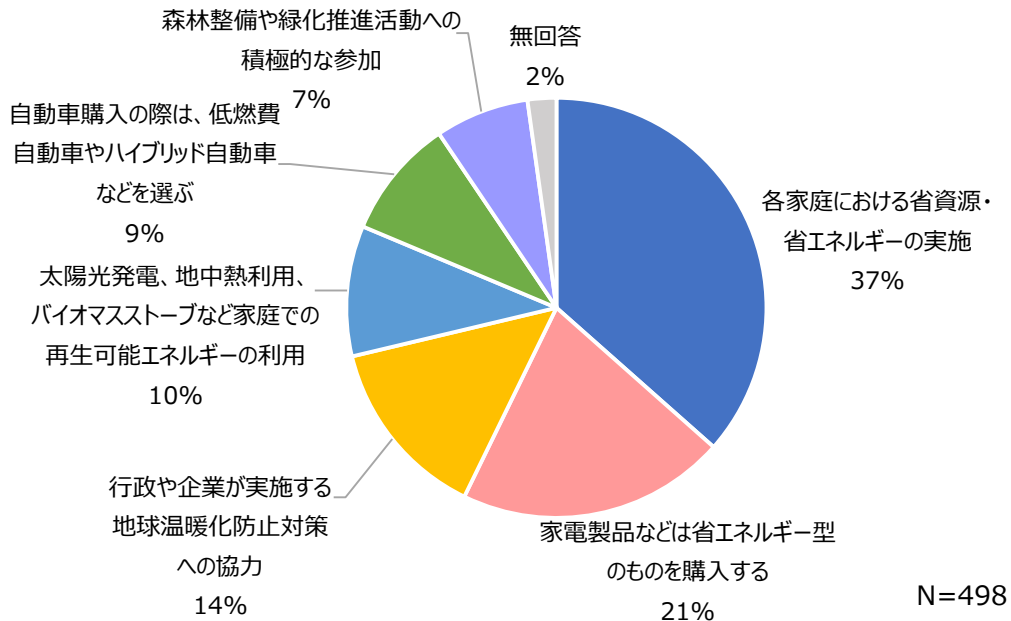
- ▶ 事業者へ期待していることとして、「ごみの減量化・リサイクルに努める」が24%と最も多く、次いで「省エネ製品やエコ商品の開発、製造、販売等の事業を展開する」が22%、「省エネを心がけ、エネルギーを効率的に使用する」が21%となっています。



10) 地球温暖化防止のために、市民が取り組むべきことは何だと思いませんか。
最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

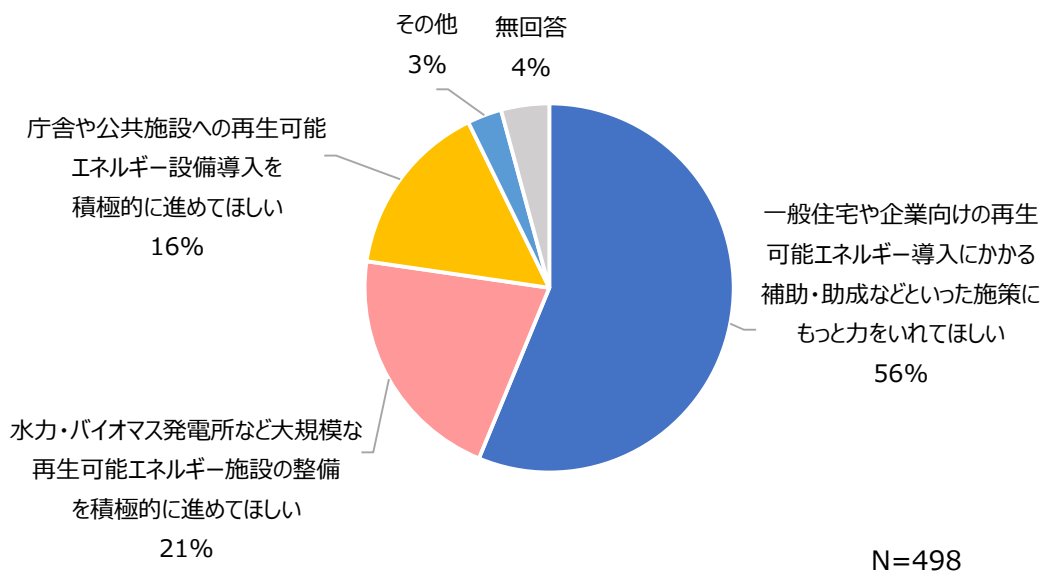
- ▶ 「各家庭における省資源省エネルギーの実施」が37%と最も多く、次いで「家電製品などは省エネルギー型のもを購入する」が21%、「行政や企業が実施する地球温暖化防止対策への協力」が14%と続いています。



11) 市では、脱炭素循環型社会を構築する取り組みとして、太陽光、バイオマス、地中熱、水力などの再生可能エネルギー創出についての施策を進めています。このことについて、何を期待されますか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

▶市に期待する施策として「一般住宅や企業向けの再生可能エネルギー導入にかかる補助助成などといった施策にもっと力をいれてほしい」が56%と最も多く、全体の半数を占める結果となっています。

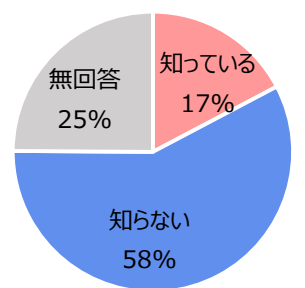


12) 市では、省エネ機器や再エネを積極的に導入することで脱炭素社会への推進に寄与する方に対し、補助金を交付しています。あなたは、本市で実施している補助メニューについて知っていますか。該当する番号を①②のそれぞれ1つだけ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

①認知度について

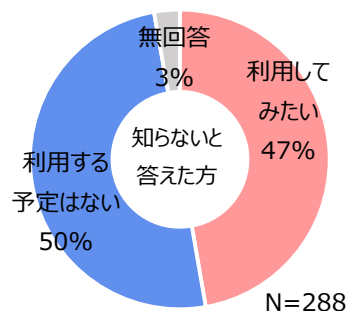
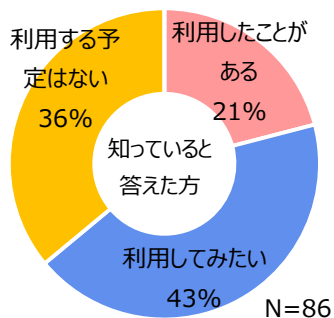
▶補助メニューの認知度について、「知らない」が58%と、半数を超えています。



②利用状況意向について

▶「知っている」と回答した方で「利用してみたい」と回答した方は43%となっています。

▶「知らない」と答えた方で「利用してみたい」と回答した方は、47%を占めています。

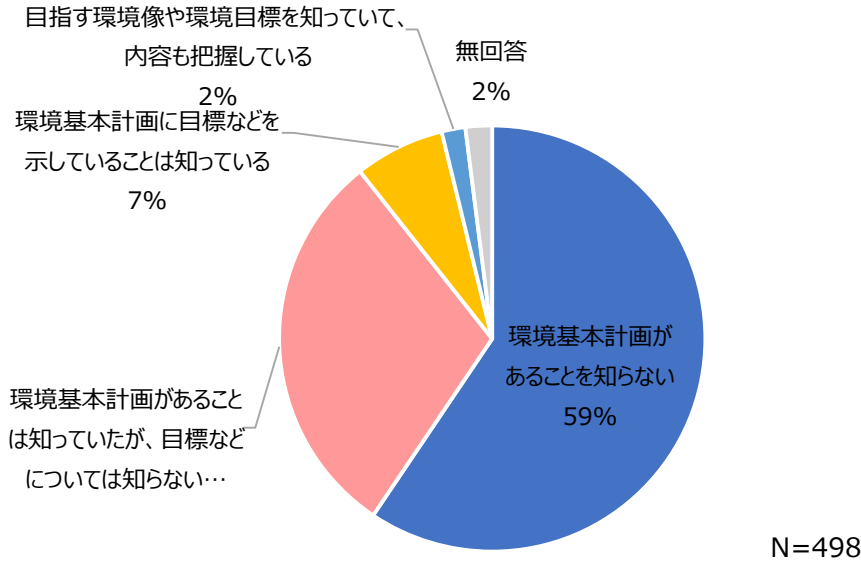


IV：十日町市の環境保全対策についておたずねします。

1) 十日町市環境基本計画の中で、「目指す環境像」及び「環境目標」を設定しています。あなたは、「目指す環境像」及び「環境目標」を知っていますか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

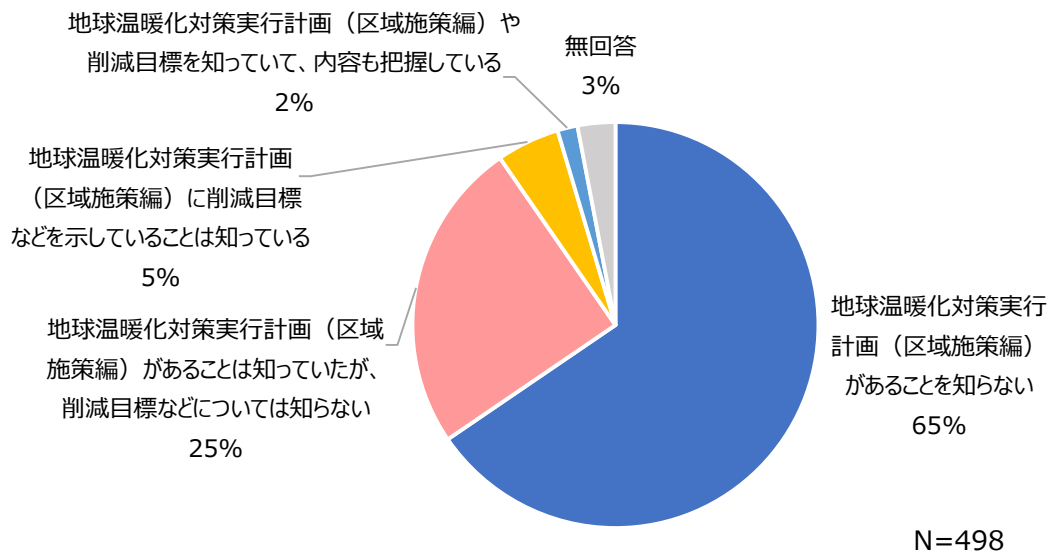
▶「環境基本計画があることを知らない」が59%と最も多く、環境基本計画の認知度が低い状況となっています。



2) 市では、地球温暖化対策に取り組むため、十日町市全域の温室効果ガス排出量の「削減目標」や「取り組むべき施策」を示した「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定しています。あなたは、この「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」及び「削減目標」を知っていますか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

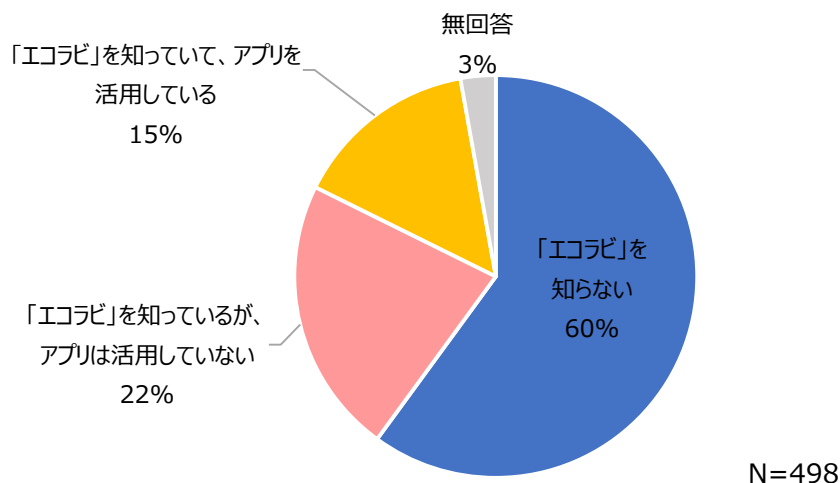
▶「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」があることを知らない」が65%と半数を超える結果となっており、環境基本計画同様、認知度は低い状況となっています。



3) 市では、ごみの適正な分別に取り組むため、「地域に合わせてごみの種類ごとの収集日をお知らせする機能」や「品目ごとに簡単にごみの分別を検索できるごみ分別辞典機能」など、ごみに関する様々な情報を示した「スマートフォン用アプリ エコラビ」を無料配信しています。
あなたは、この「エコラビ」を知っていますか。最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

▶最も多かった回答は「エコラビを知らない」が60%となっており、エコラビについても市民への認知度は低い状況となっています。

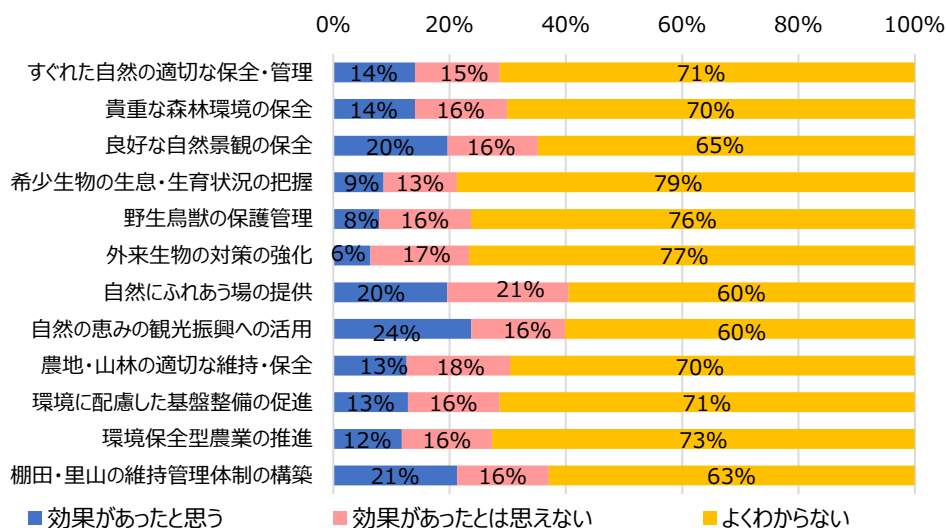


4) 市の環境基本計画で実施している主な環境施策は以下のとおりです。これまでの市の取り組み状況より、それぞれの施策の効果について、最もあてはまる番号(1~3)を1つ選び、○で囲んでください。

①自然環境生物多様性

【有効回答 481~485人(項目によって異なる)】

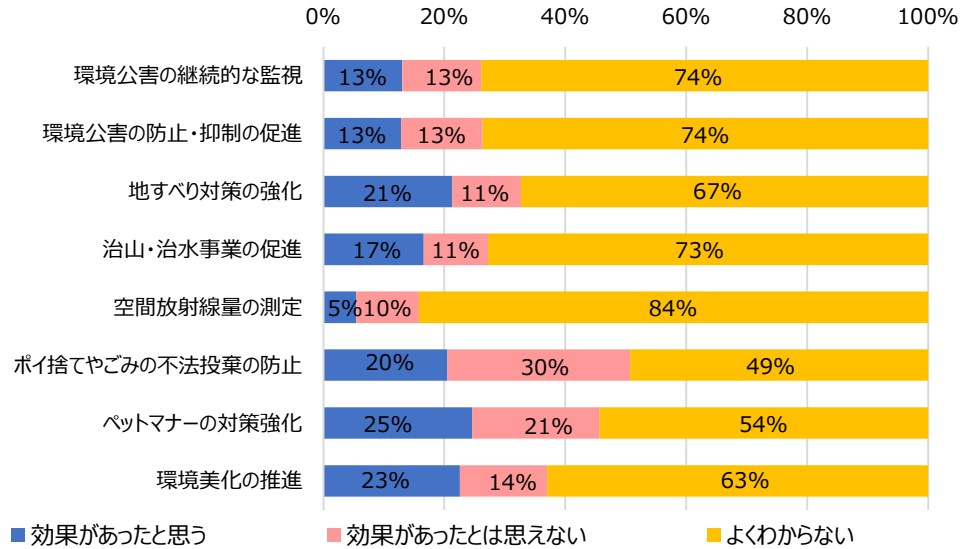
- ▶「効果があったと思う」施策について、最も多かった回答は「自然の恵みの観光振興への活用」が24%、次いで「棚田里山の維持管理体制の構築」が21%となっています。
- ▶一方、「効果があったとは思えない」施策について、「自然にふれあう場の提供」が21%と最も多くなっています。



②生活環境

【有効回答 480~484人（項目によって異なる）】

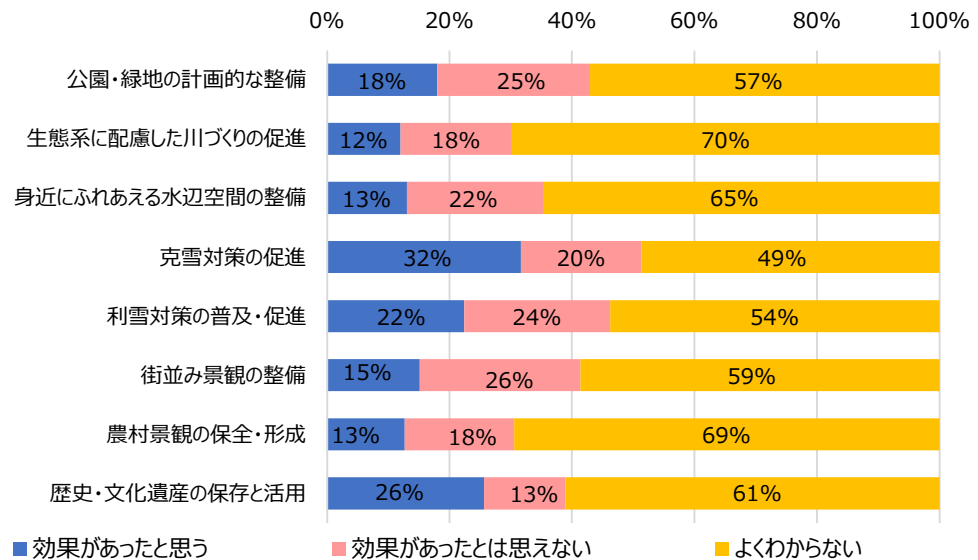
- ▶ 「効果があったと思う」施策に関して、最も多かった回答は「ペットマナー^{※資}の対策強化」の25%で、次いで「環境美化の推進」が23%となっています。
- ▶ 「効果があったとは思えない」施策として、最も多かった回答は「ポイ捨てやごみの不法投棄の防止」の30%となっています。



③快適環境

【有効回答 481~483人（項目によって異なる）】

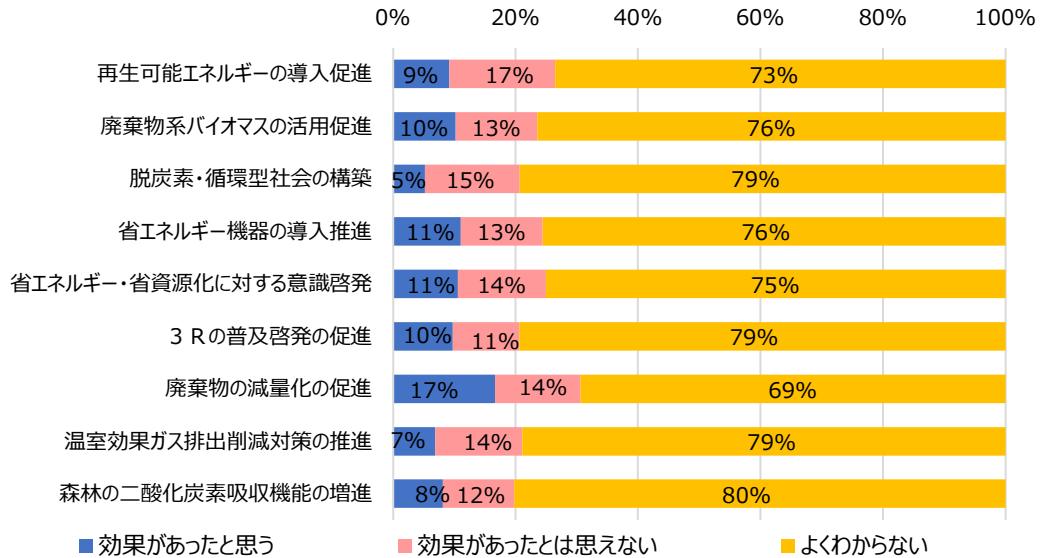
- ▶ 「効果があったと思う」が最も多かった施策は、「克雪対策の促進」の32%であり、次いで「歴史文化遺産の保存と活用」が26%と続いています。
- ▶ 「効果があったとは思えない」施策について、最も多かった回答は「街並み景観の整備」で、26%となっています。



④資源の循環地球環境

【有効回答 478~480人（項目によって異なる）】

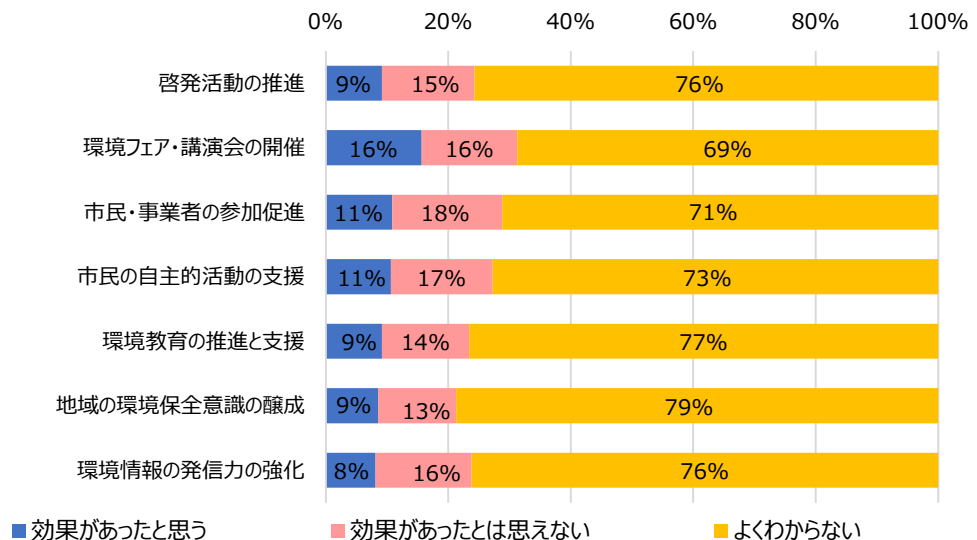
- ▶ 「効果があったと思う」施策に関して、最も多かったのは「廃棄物の減量化の促進」で17%となっています。
- ▶ 「効果があったとは思えない」施策について、最も多かった回答は「再生可能エネルギーの導入促進」で、17%となっています。



⑤参加行動

【有効回答 478~480人（項目によって異なる）】

- ▶ 「効果があったと思う」が最も多かった施策は、「環境フェア講演会の開催」の16%ですが、「効果があったとは思えない」でも回答率が16%という状況になっています。
- ▶ 「効果があったとは思えない」施策に関して、最も多かった回答は「市民事業者の参加促進」で、18%となっています。



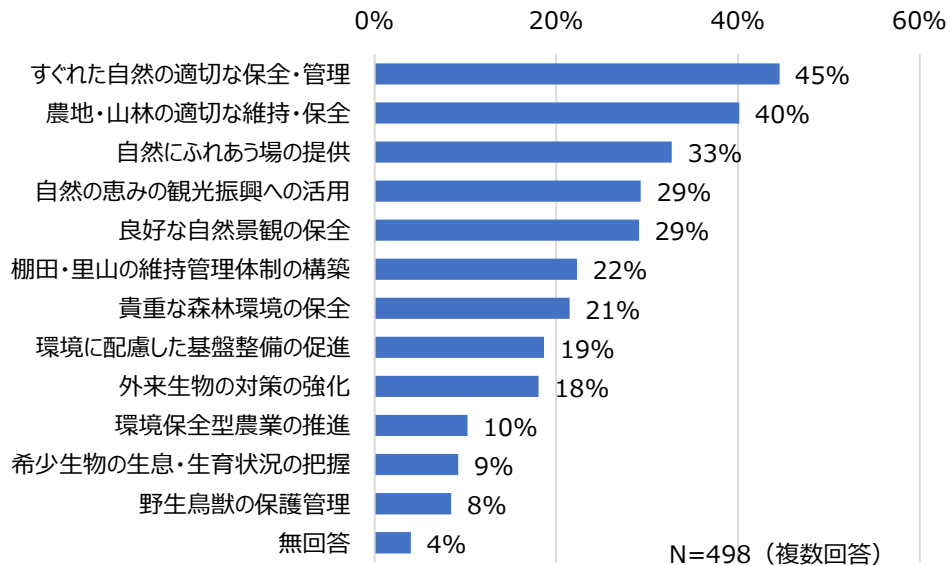
5) 市の環境基本計画の主な施策について、それぞれの分野ごとに、市が重点的に取り組むべきだと思う番号を3つ選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

⑥自然環境生物多様性

▶市が重点的に取り組むべき施策について、「すぐれた自然の適切な保全管理」が45%と最も多く、次いで「農地山林の適切な維持保全」が40%、「自然にふれあう場の提供」が33%と続いています。

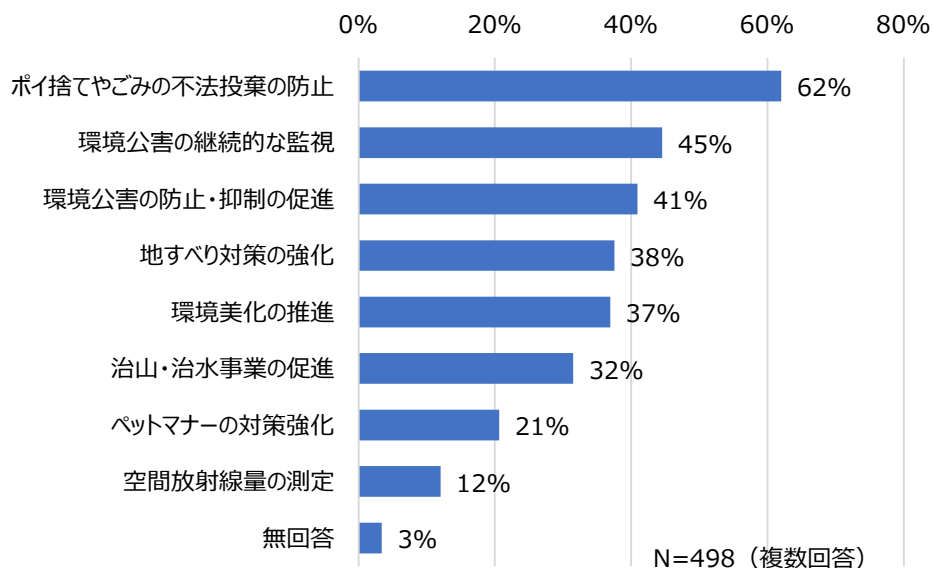
▶一方、「野生鳥獣の保護管理」が8%、「希少生物の生息生育状況の把握」は9%と、鳥獣や希少生物に対する施策への回答率は低い状況となっています。



⑦生活環境

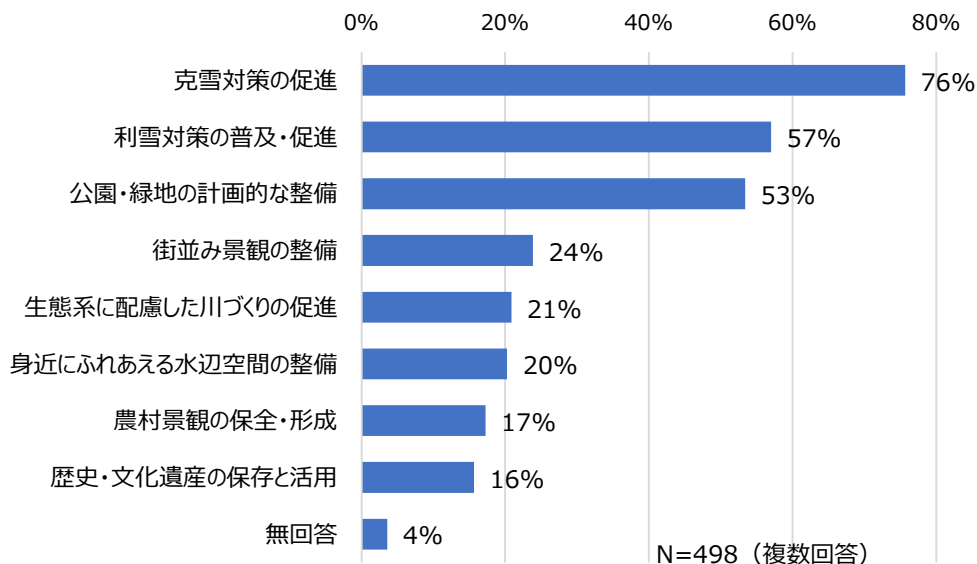
▶市が重点的に取り組むべき施策について、「ポイ捨てやごみの不法投棄の防止」が62%と最も多く、次いで「環境公害の継続的な監視」が45%、「環境公害の防止抑制の促進」が41%となっています。

▶一方、最も少なかった施策は「空間放射線量の測定」で、12%に留まっています。



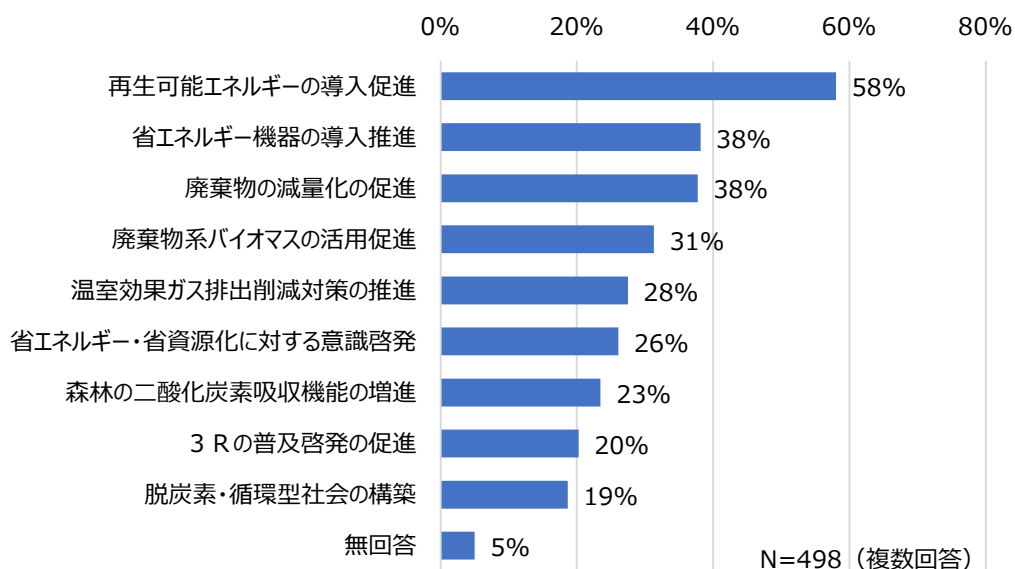
⑧快適環境

- ▶市が重点的に取り組むべき施策として、「克雪対策の促進」が76%と最も多く、次いで「利雪対策の普及促進」が57%、「公園緑地の計画的な整備」が53%と、上位3つの施策への回答率は50%を超える結果となっています。
- ▶一方、回答率が最も少なかった施策は、「歴史文化遺産の保存と活用」で16%となっています。



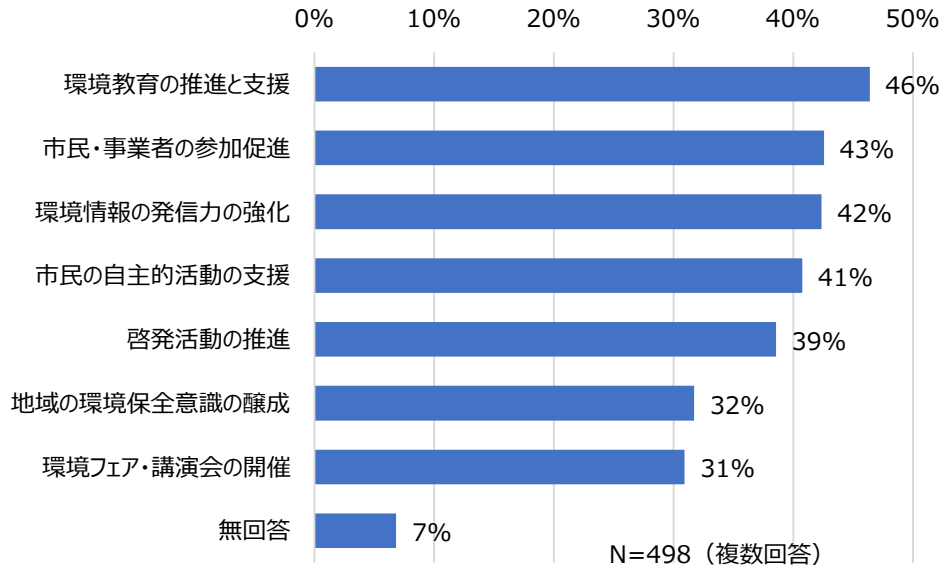
⑨資源の循環地球環境

- ▶市が重点的に取り組むべき施策について、「再生可能エネルギーの導入促進」が58%、「省エネルギー機器の導入推進」と「廃棄物の減量化の促進」が38%と、再生可能エネルギーや省エネルギー機器への導入促進施策に対しての期待が高まっています。
- ▶一方、「脱炭素循環型社会の構築」は19%と、最も低い回答率になっています。



⑩参加行動

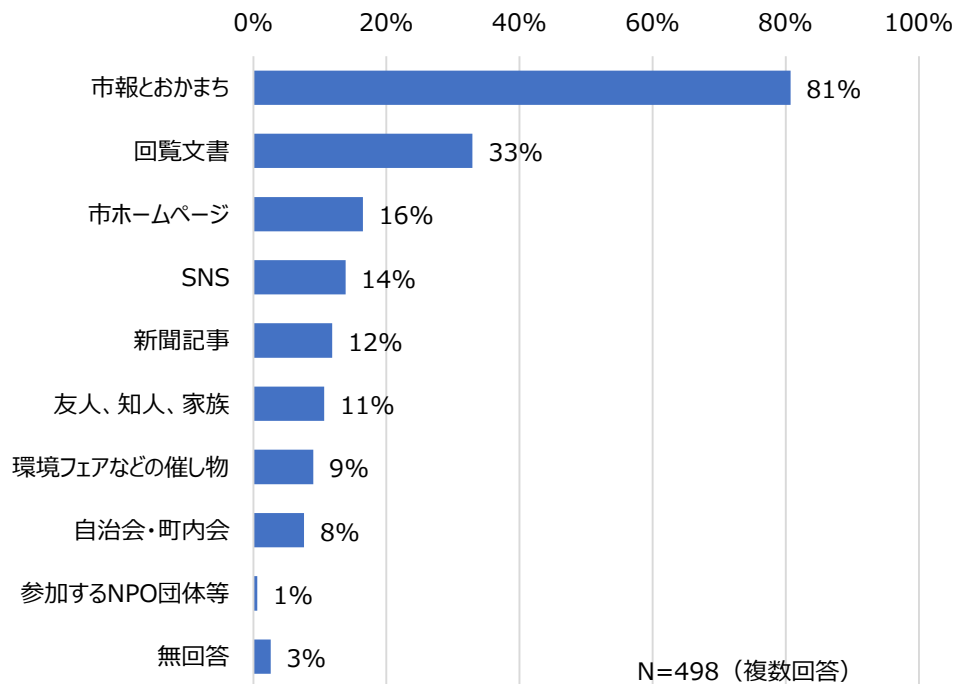
▶重点的に取り組むべき施策について、「環境教育の推進と支援」が46%と最も回答率が多く、次いで「市民事業者の参加促進」が43%、「環境情報の発信力の強化」が42%となっています。



6) あなたが、市の環境に関する情報などを知る場合、主にどういった方法で情報収集していますか。あてはまる番号を2つ以内で選び、○をつけてください。

【有効回答 498人】

- ▶「市報とおかまち」が81%と、8割以上の方が市報から情報を得ています。
▶一方、「環境フェアなどの催し物」や「自治会町内会」「参加するNPO団体等」の回答率は10%未満に留まっています。

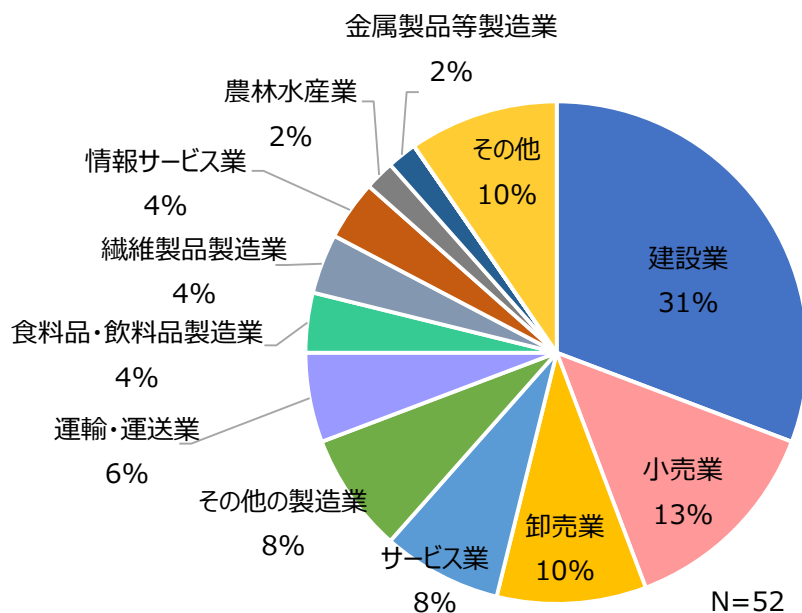


【十日町市の環境に関するアンケート】事業者アンケート調査結果

I：貴事業所のことについておたずねします。

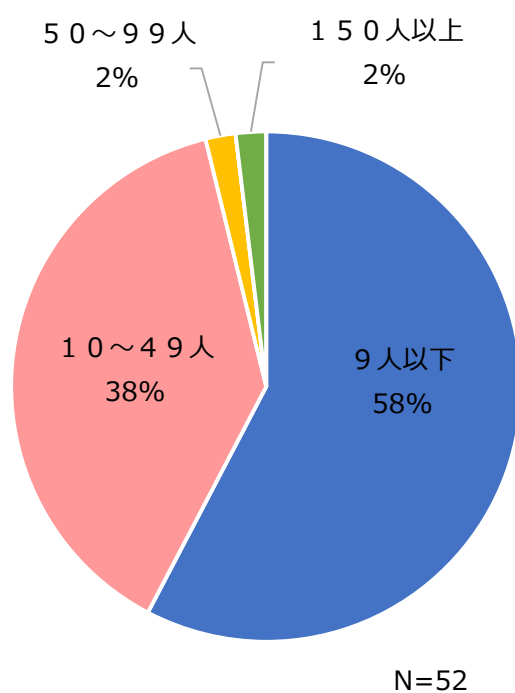
1) 業種

「建設業」が31%と最も多く、次いで「小売業」が13%、「卸売業」が10%と続いています。



2) 従業員数

最も多かったのは「9人以下」の58%で、次いで「10～49人」の38%となっています。

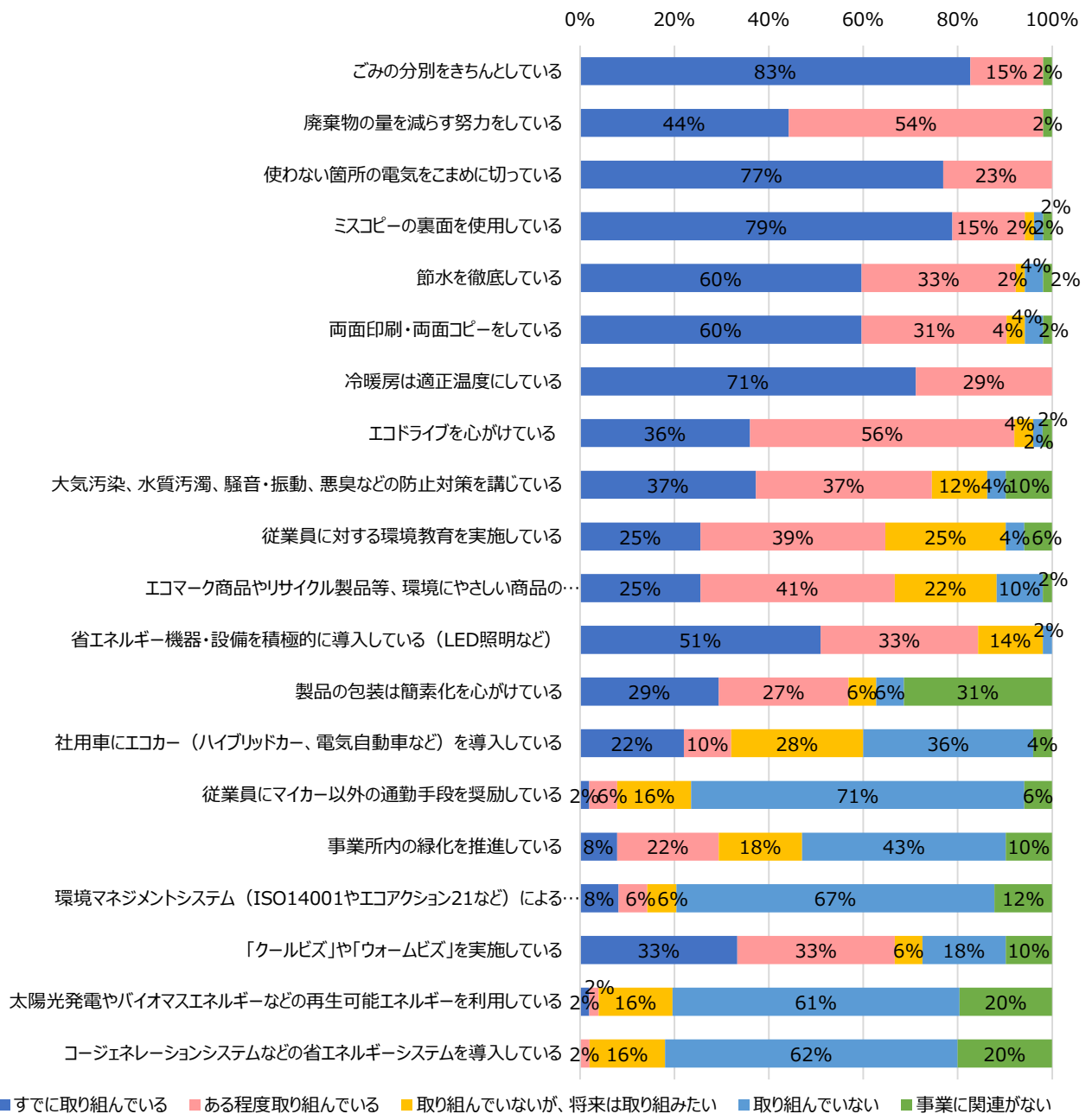


Ⅱ：貴事業所の環境への取り組みについておたずねします。

1) 貴社では、環境に配慮した取り組みとしてどのようなことを行っていますか。
 貴社の取り組みに最も近い番号(1~5)を各項目からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 49~52社(項目によって異なる)】

- ▶ 環境への取り組みとして最も多かったのは、「ごみの分別をきちんとしている」で83%となっています。
- ▶ 「冷暖房は適正温度にしている」について、「すでに取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」を合わせると100%となり、全事業者が取り組んでいる状況となっています。
- ▶ 「取り組んでいないが、将来は取り組みたい」では「社用車にエコカー(ハイブリッドカー、電気自動車など)を導入している」が最も多く、28%となっています。
- ▶ 一方、「取り組んでいない」が最も多かったのは、「従業員にマイカー以外の通勤手段を奨励している」が70%を超える結果となっています。



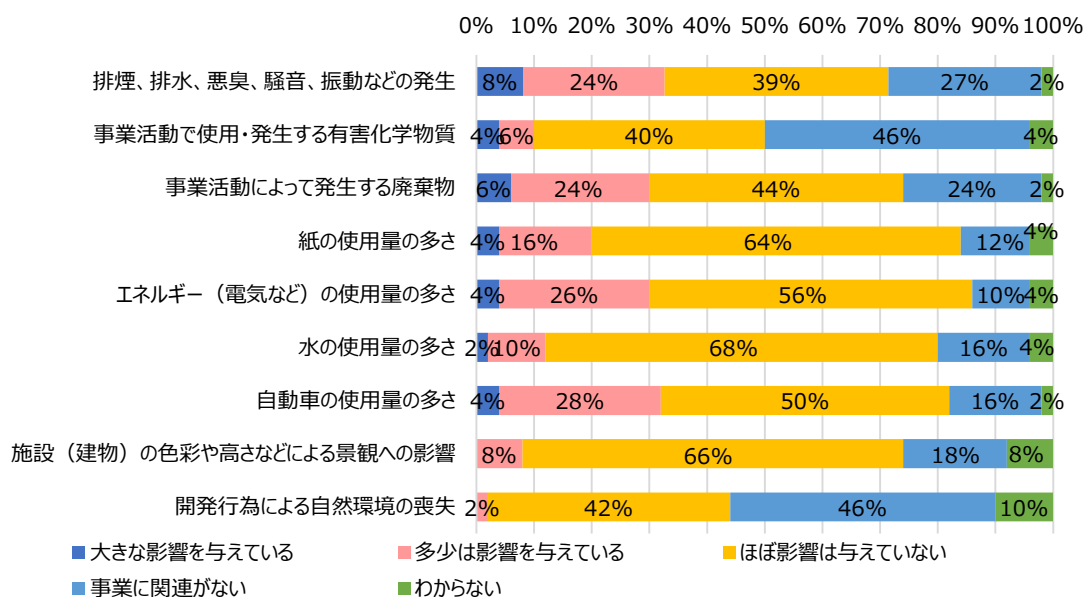
Ⅲ：貴事業所の環境保全に対するお考えについておたずねします。

1) 貴社が提供する製品や事業活動などにおいて、どのようなものが環境に影響を与えていると考えていますか。

最も近い番号（1～5）を各項目からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 49～50社（項目によって異なる）】

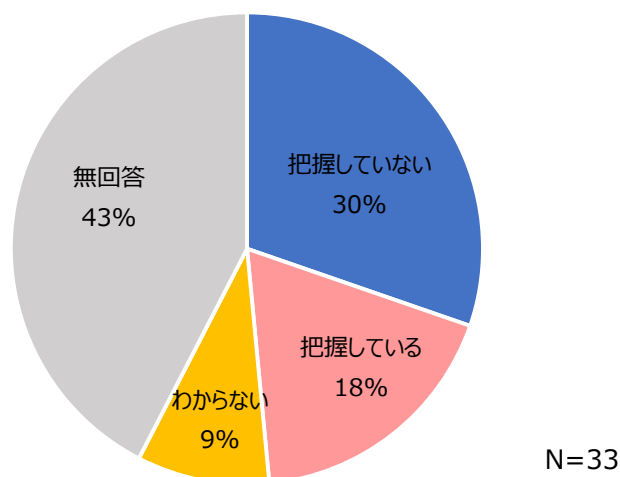
- ▶ 環境への影響について、「大きな影響を与えている」「多少は影響を与えている」を合わせると、「排煙、排水、悪臭、騒音、振動などの発生」「自動車の使用量の多さ」が最も多く、30%を超える結果となっています。
- ▶ 「ほぼ影響は与えていない」で最も多かった回答は「施設（建物）の色彩や高さなどによる景観への影響」で、66%となっています。



2) 貴社では、1)で「大きな影響を与えている」または「多少は影響を与えている」と回答したものについて、環境負荷となる排出量や発生量、使用量などを把握していますか。最も当てはまるものを1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 33社】

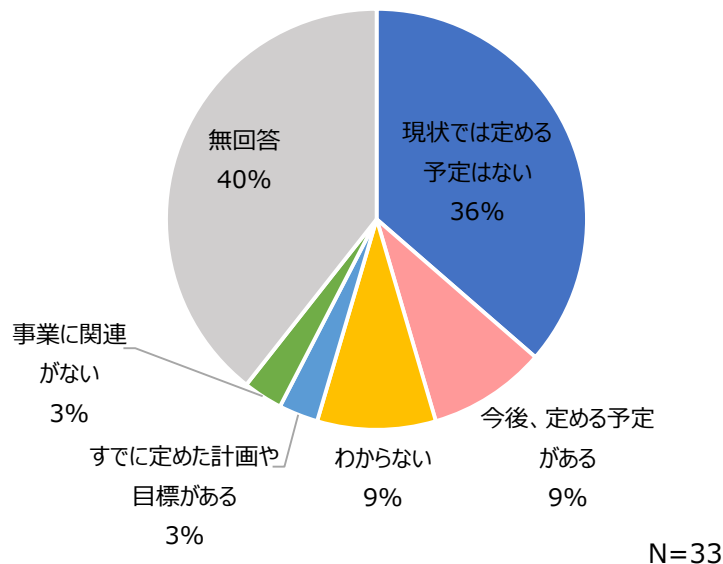
- ▶ 最も多かった回答は「把握していない」の30%で、排出量や発生量などを「把握している」と回答した割合は、18%となっています。



3) 貴社では、1)で「大きな影響を与えている」または「多少は影響を与えている」と回答したものについて、改善するための具体的な計画や目標がありますか。最も当てはまるものを1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 33社】

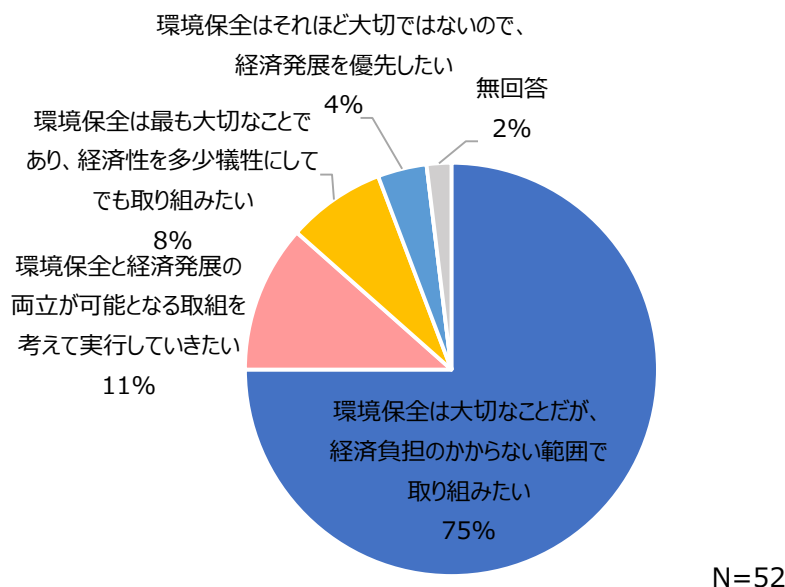
- ▶最も多い回答は「現状では定める予定はない」の36%となっています。
- ▶「すでに定めた計画や目標がある」と「今後、定める予定がある」を合わせると、12%を占めており、環境への改善や目標設定に取り組む姿勢が伺えます。



4) 貴社では、環境保全と経済発展について、どのようにお考えですか。最も当てはまるものを1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 52社】

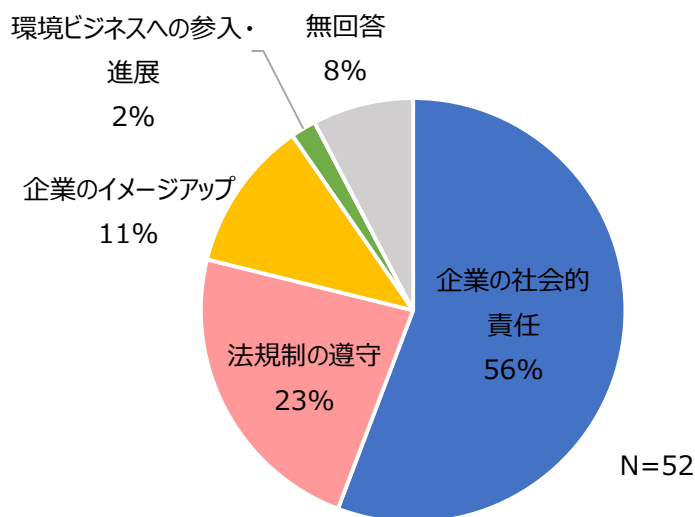
- ▶最も多かった回答は「環境保全は大切なことだが、経済負担のかからない範囲で取り組みたい」であり、75%を占める結果となっています。
- ▶一方、「環境保全はそれほど大切ではないので、経済発展を優先したい」は最も少なく、4%となっています。



5) 事業活動において環境保全に取り組むことは、どのような意義があるとお考えですか。
貴社のお考えに最も近いものを1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 52社】

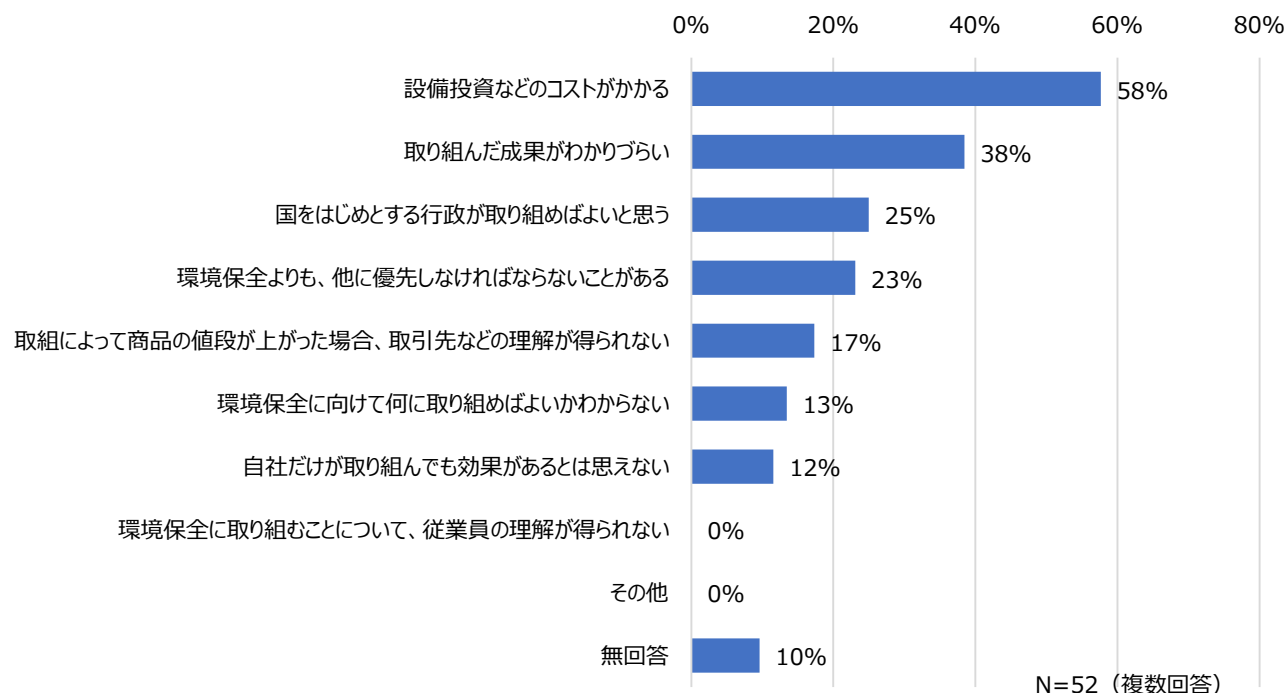
- ▶ 「企業の社会的責任」が56%と最も多く、次いで「法規制の遵守」が23%となっています。一方、最も少なかった回答は「環境ビジネスへの参入進展」の2%となっています。



6) 貴社で環境保全に取り組むうえで、課題となることは何ですか。
当てはまるものを3つまで選び、○をつけてください。

【有効回答 52社】

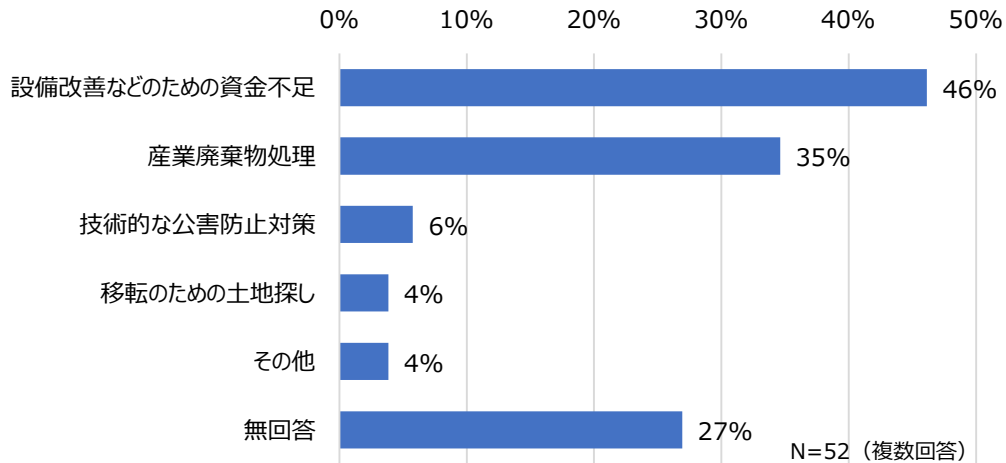
- ▶ 「設備投資などのコストがかかる」が58%と最も多く、次いで「取り組んだ成果がわかりづらい」が38%、「国をはじめとする行政が取り組めばよいと思う」が25%と続いています。
- ▶ 一方で、「環境保全に取り組むことについて、従業員の理解が得られない」は0%となっています。



7) 貴社が環境問題で困っていることはありますか。
当てはまるものすべてに、○をつけてください。

【有効回答 52社】

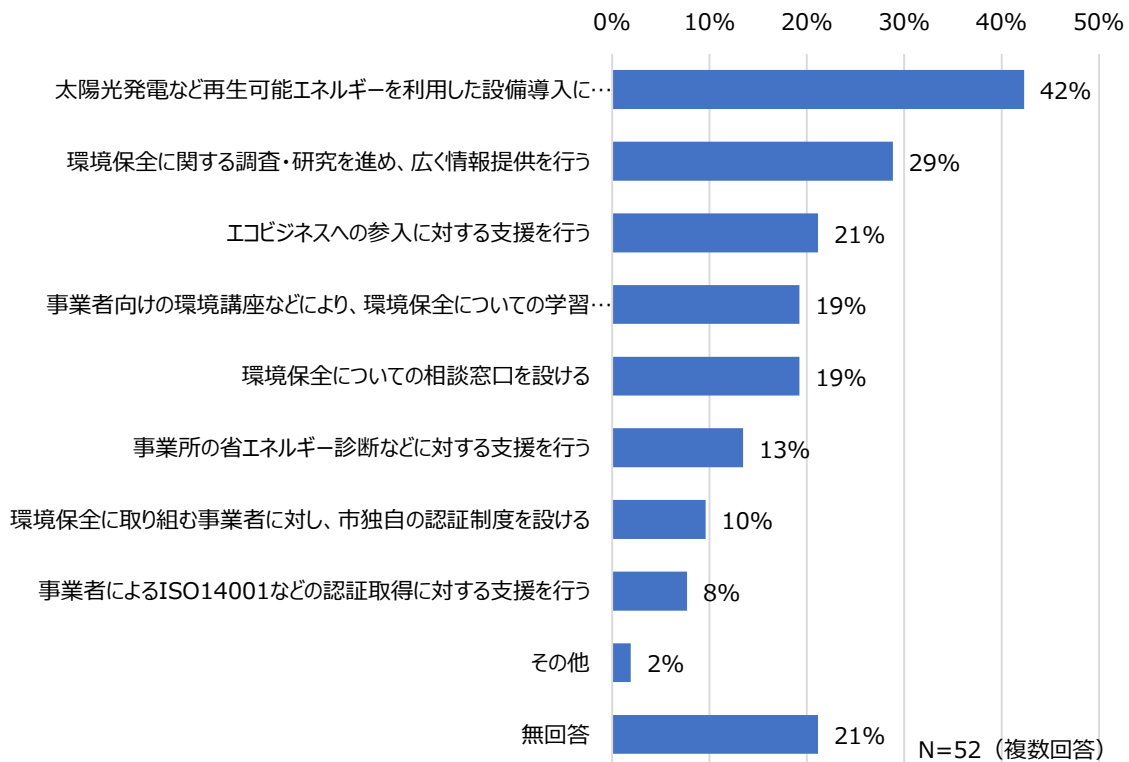
「設備改善などのための資金不足」が最も多い46%と、約50%を占めています。
最も少ない回答は、「移転のための土地探し」で4%となっています。



8) 環境保全のために、貴社が行政に特に期待する施策は何ですか。
当てはまるものを3つまで選び、○をつけてください。

【有効回答 52社】

- ▶ 「太陽光発電など再生可能エネルギーを利用した設備導入に対する支援を行う」が42%と最も多く、次いで「環境保全に関する調査研究を進め、広く情報提供を行う」が29%、「エコビジネスへの参入に対する支援を行う」が21%となっています。
- ▶ 一方、「事業者によるISO14001などの認証取得に対する支援を行う」が8%と、最も少ない回答となっています。

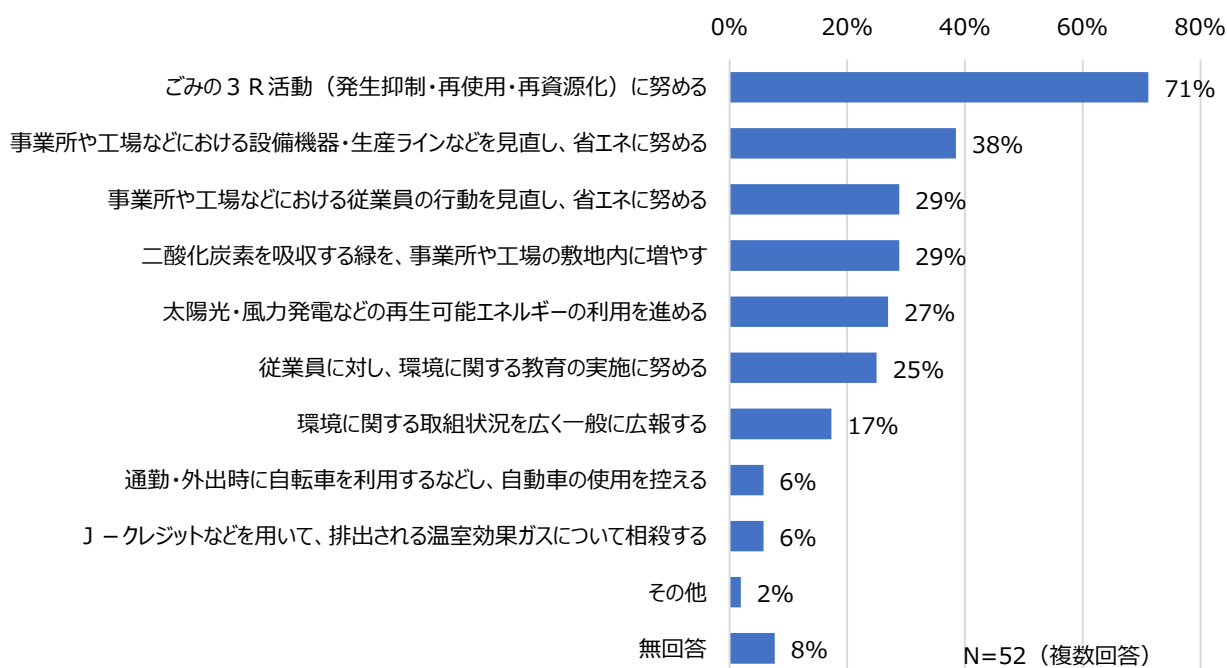


IV：貴事業所の地球温暖化対策に対する考え、状況についておたずねします。

1) 地球温暖化対策に向け、事業者としてどのような取り組みが必要だとお考えですか。より必要だと考えるものを3つ選び、○をつけてください。

【有効回答 52社】

- ▶ 「ごみの3R※^{※資}活動（発生抑制再使用再資源化）に努める」が71%と最も多く、次いで「事業所や工場などにおける設備機器生産ラインなどを見直し、省エネに努める」が38%、「事業所や工場などにおける従業員の行動を見直し、省エネに努める」が29%という結果になっています。
- ▶ 一方、最も少ない回答は「通勤外出時に自転車を利用するなどし、自動車の使用を控える」と「J-クレジットなどを用いて、排出される温室効果ガスについて相殺する」で、ともに6%という状況です。

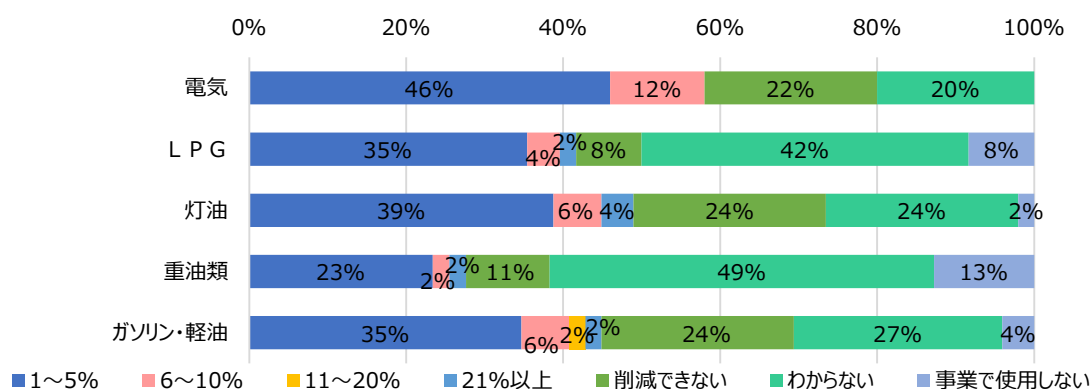


資料編

2) 貴社における電気、ガス、灯油などのエネルギー使用量について、今後5年間で省エネルギーに努めることによって可能と考えられる消費量の削減率について、貴社のお考えに最も近い番号（1～6）を各項目からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 47～50社（項目によって異なる）】

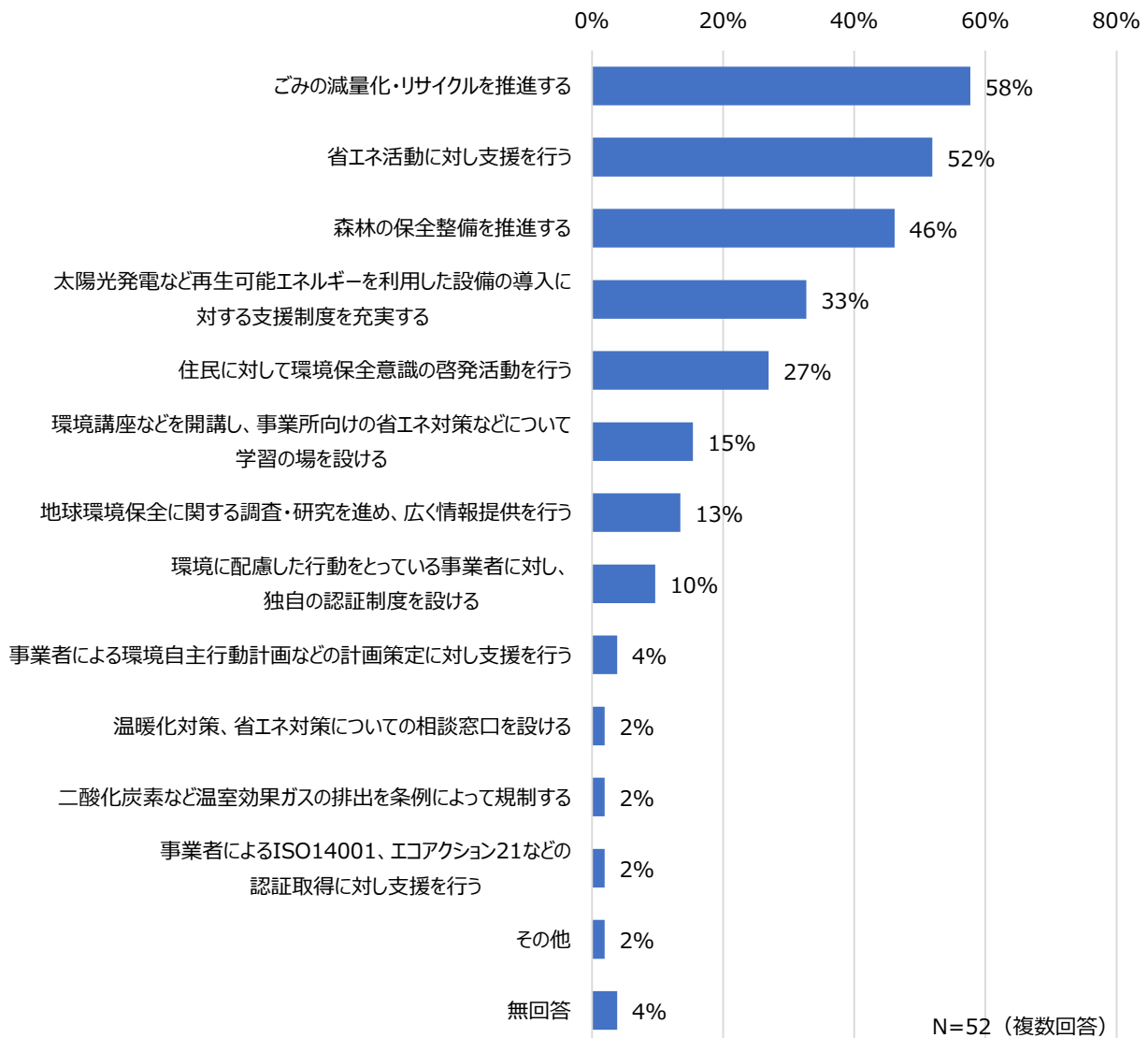
- ▶ エネルギー消費量の削減率について、全体的に「1～5%」が最も多くなっています。
- ▶ 電気以外のエネルギーについて、「削減できない」「わからない」「事業で使用しない」を合わせると、50%を超える状況となっています。



3) 地球温暖化対策のために、貴社が十日町市に対して特に期待している施策はなんですか。当てはまるものを3つ選び、○をつけてください。

【有効回答 52社】

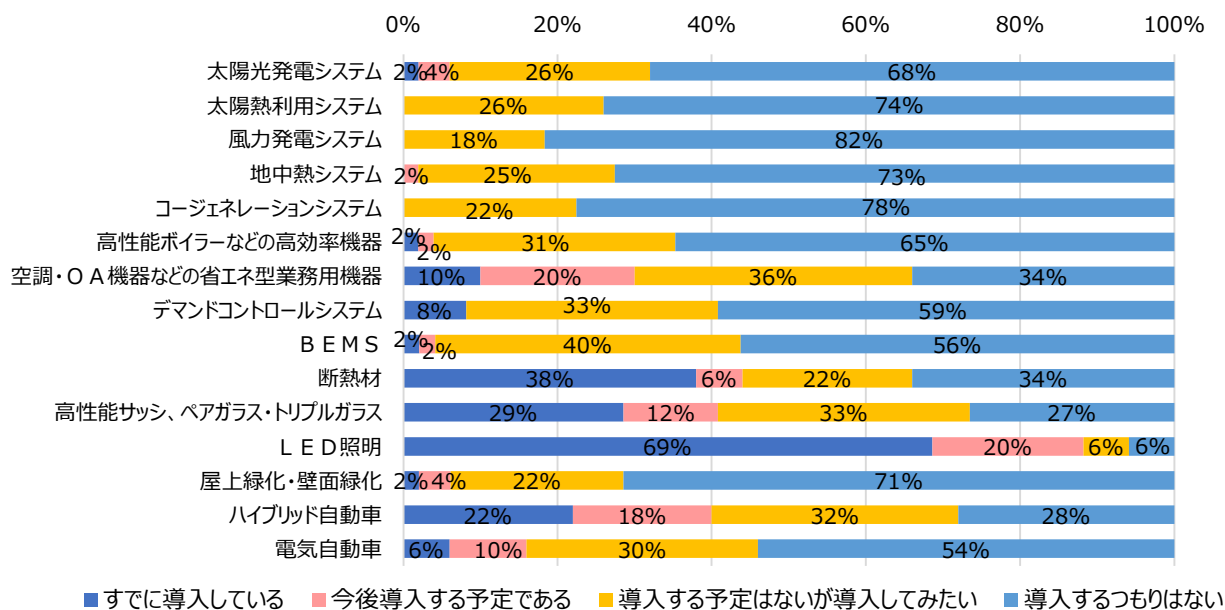
- ▶最も期待している施策は「ごみの減量化リサイクルを推進する」の58%で、「省エネ活動に対し支援を行う」が52%、「森林の保全整備を推進する」が46%と続いています。
- ▶一方で、「温暖化対策、省エネ対策についての相談窓口を設ける」「二酸化炭素など温室効果ガスの排出を条例によって規制する」「事業者によるISO14001、エコアクション21などの認証取得に対し支援を行う」が2%であり、回答率が低い状況となっています。



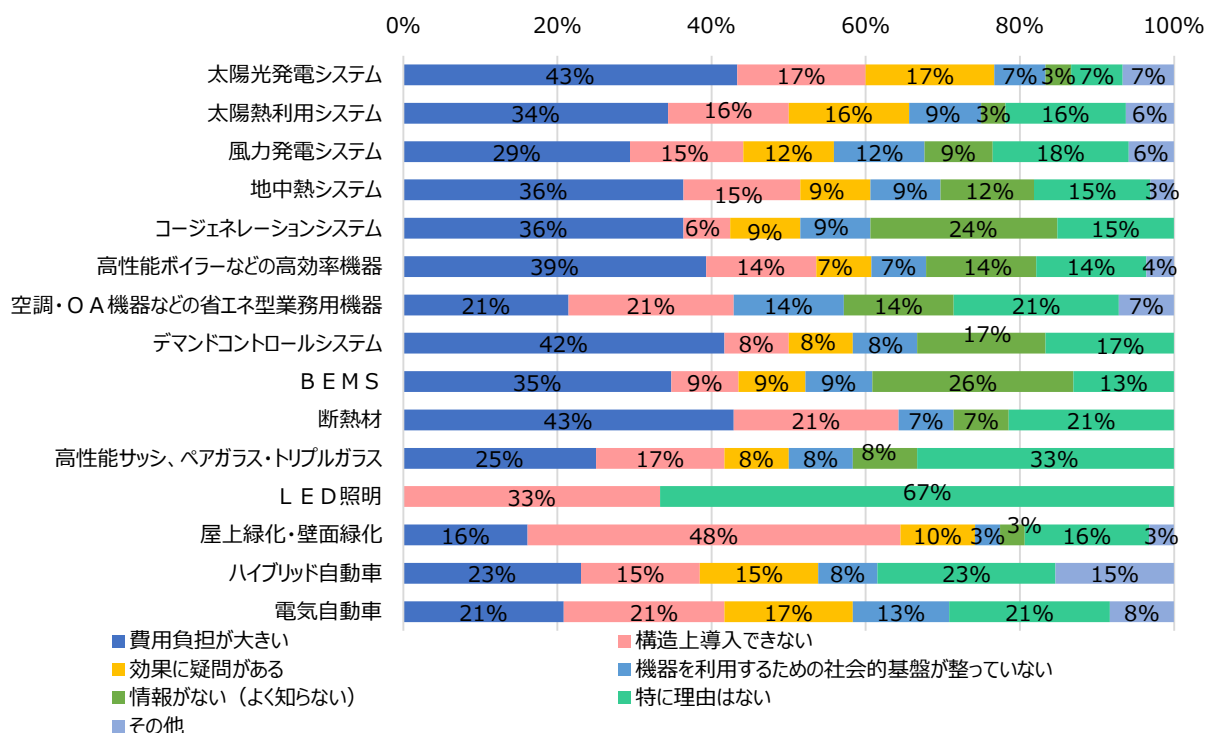
4) 貴社では、省エネルギーや再生可能エネルギーを考慮した設備などを導入していますか。当てはまる番号(1~4)を各項目からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。また、「導入するつもりはない」と回答された場合は、その理由を(①~⑦)から選び、番号をご記入ください。

【有効回答 48~51社(項目によって異なる)】

- ▶最も導入されている設備は「LED照明」の69%であり、「今後導入する予定である」を含めると90%を占めています。
- ▶一方、「導入するつもりはない」では、「風力発電システム」や「コージェネレーションシステム」「太陽熱利用システム」「地中熱システム」などの5項目で、70%を超えています。



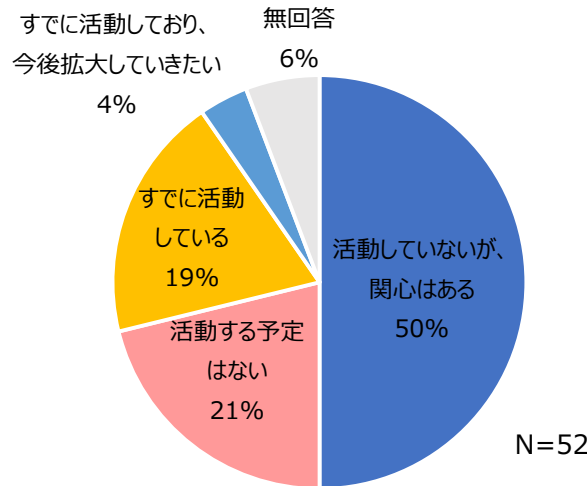
- ▶「導入するつもりはない」と回答した際の理由として、「費用負担が大きい」「構造上導入できない」が多くを占めています。



5) 地球温暖化対策のためには、住民事業者行政の連携した取り組みや活動が必要となっています。このような取り組みや活動について、最も当てはまるものを1つ選び、○をつけてください。

【有効回答 52社】

▶ 「活動していないが、関心はある」が50%と最も多く、「すでに活動しており、今後拡大していきたい」「すでに活動している」を含めると70%を超えており、地球温暖化対策への意識が高いことがみられます。

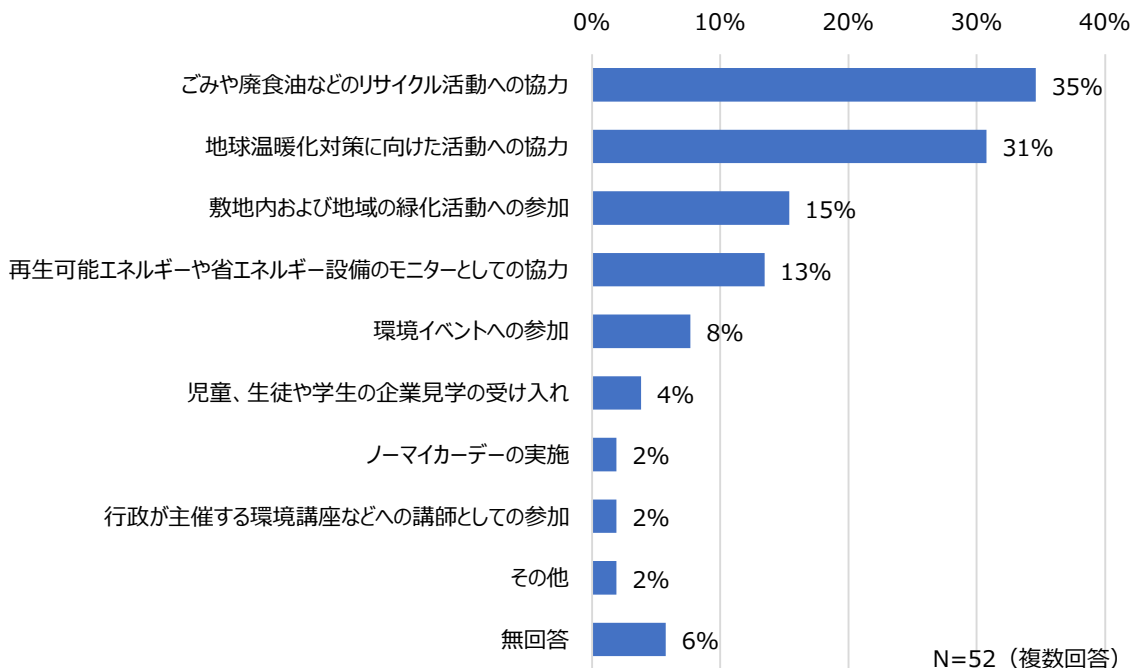


6) 5) で「3. 活動していないが、関心はある」と回答された方にお聞きします。活動する場合、どのような取り組みに関心がありますか。当てはまるものを3つ選び、○をつけてください。

【有効回答 52社】

▶ 取り組みへの関心について、「ごみや廃食油などのリサイクル活動への協力」が35%と最も多く、次いで「地球温暖化対策に向けた活動への協力」が31%となっています。

▶ 一方で、「ノーマイカーデーの実施」「行政が主催する環境講座などへの講師としての参加」は2%、「児童、生徒や学生の企業見学の受け入れ」は4%と、企業負担が高い取り組みへのハードルは高い状況がみられます。



資料3 用語説明

あ 行

[愛知目標]

平成22(2010)年に愛知県で開催された「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」で採択された、平成23(2011)年から令和2(2020)年までの生物多様性保全に関する世界的な行動目標。

[エコモビリティ]

環境負荷を低減しつつ、効率的な移動を実現するライフスタイルや交通システムのこと。

[S+3Eの原則]

日本のエネルギー政策の基本理念であり、安全性(Safety)を大前提に、エネルギーの安定供給(Energy Security)、経済効率性(Economic Efficiency)、環境適合(Environment)の3つの「E」を同時に実現することを目指すもの。

[エッセンシャルワーカー]

「必要不可欠な労働者」のことで、医療や運輸など、私たちの生活や社会のインフラ(基盤)を維持するために不可欠な仕事に従事する人々を指す。

[SS]

「Suspended Solids」の略で、水に溶けずに浮遊している直径2mm以下の粒子の量のこと。値が高いほど水が濁って見え、魚のえらに詰まったり、光を遮って水草の成長を妨げる。

[SDGs]

「Sustainable Development Goals」の略で「持続可能な開発目標」と訳され、令和12(2030)年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。貧困、気候変動、ジェンダー平等などに関する17の目標で構成されている。

[NDC]

「Nationally Determined Contribution」の略で「国が決定する貢献」と訳され、気候変動対策として、各が5年ごとに提出する温室効果ガス排出削減目標と取り組み。

[温室効果ガス]

大気中の二酸化炭素やメタンなど、太陽からの熱を吸収し、地表を温めるガスのこと。地球温暖化の防止のため、温室効果ガスを削減する必要がある。

か 行

[カーボンニュートラル]

二酸化炭素の排出量と吸収量のバランスが取れて中立(二酸化炭素の出入りが±ゼロ)な状態。また、そのための仕組みや活動。

[環境基本法]

平成5(1993)年11月19日に公布、施行。環境の保全についての基本理念として、「環境の恵沢の享受と継承等」「環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築等」「国際的強調による地球環境保全の積極的推進」の3つの理念を定め、国、地方公共団体、事業者及び国民の環境の保全に係る責務を明らかにしている。

[気候変動]

数十年間という期間の中で、気候が移り変わること。二酸化炭素の増加に伴って地球の平均気温が上昇し、大型で強力な台風が発生や大雨、大規模な干ばつが発生するなどの悪影響をもたらす。

[恒久対策基準値]

主に廃棄物処理(ごみ焼却施設)や環境汚染対策において、一時的な応急措置ではなく、長期的かつ根本的な安全性確保のために設定された、法令やガイドラインに基づく厳しい基準値。

[昆明・モントリオール生物多様性枠組]

「自然と共生する世界」を令和 32 (2050) 年の目標とし、令和 22 (2030) 年までに生物多様性の損失を食い止め回復軌道に乗せるための世界共通の行動計画。前身の「愛知目標」の後継。

さ 行
サティ・バイ・サティ
[30by30 目標]

令和 22 (2030) 年までに地球の陸域と海域のそれぞれ 30%以上を、健全な生態系として効果的に保全しようという世界的な目標。

[30・10 (さんまる・いちまる) 運動]

宴会や会食での「食べ残し」を減らすための国民運動。料理を最後まで美味しく食べきり、食品ロス (フードロス) を削減することを目的としている。

[森林クレジット]

森林の適切な管理や植林・再造林などの取り組みによって森林が吸収した CO₂ 量を「クレジット (排出削減・吸収量の証書)」として認証し、取引できるようにしたもの。

[森林経営管理制度]

平成 31 (2019) 年に施行された「森林経営管理法」に基づき、手入れが行き届いていない森林を、市町村が仲介役となって、林業経営者に集約化したり、市町村自らが管理したりする制度。

ジーエイチジー
[G H G]

「温室効果ガス」の略で、二酸化炭素 (CO₂) やメタン (CH₄) など、地球の熱を吸収して大気中に閉じ込め、地球を暖かく保つ働きを持つ気体の総称。

ジーエステー
[G S T]

「Global Stocktake」の略で、パリ協定に基づき、世界全体の気候変動対策の進捗を定期的に評価し、目標達成に向けて取り組みを確認する仕組み。

ジーエックス
[G X]

「Green Transformation」の略で、石油や石炭などの化石燃料から、太陽光や風力といったクリーンエネルギー中心の社会へ転換し、温室効果ガスを削減しながら経済成長を目指す取り組み。

ジーエックス
[GX 政策]

化石燃料中心の経済・社会構造を、脱炭素でクリーンエネルギー中心の構造へ転換させ、経済成長と温室効果ガス排出削減 (カーボンニュートラル) を両立させることを目指す、日本政府が推進する国家戦略。

シーシーユーエス
[C C U S]

「Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage」の略で「二酸化炭素回収・利用・貯蔵」と訳され、発生した二酸化炭素を回収し、産業用途での利用や地下に貯蔵する技術の総称。

アール
[3 R]

環境に配慮した循環型社会をつくるための 3 つのキーワード、Reduce (リデュース：減らす)、Reuse (リユース：再利用)、Recycle (リサイクル：再生利用) の頭文字をとった言葉。単に「ゴミを分ける」ことだけでなく、「そもそもゴミを減らし、資源を大切に使う」ための優先順位。

[水源かん養]

主に森林が雨水を地中に蓄え、川の流量を調節したり水質を浄化したりする機能のことを指します。単に「水を貯める」だけでなく、私たちの生活に欠かせない「良質な水」を安定的に生み出す、自然のインフラのような役割。

[瀬替え・間歩 (マブ)]

瀬替えとは、川の蛇行部分を直線化するため、適当な土地を求めて新しい河道を掘り、これに付け替えること。

間歩とは、一般的には鉱山の坑道を示す言葉であるが、本市とその周辺では江戸時代初期に農業用の地下水路のトンネルが整備され、それを間歩と呼んでいる。

ゼッチ

[ZEH]

「Net Zero Energy House」の略で、住宅の断熱性能を高め、高効率な設備でエネルギー使用量を大幅に減らしたうえで、太陽光発電などの再生可能エネルギーでエネルギーを創り、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロまたはゼロ以下にすることを目指した住宅。

[ゼロカーボンシティ]

令和 32 (2050) 年までに二酸化炭素 (CO₂) 排出量を実質ゼロにすることを目指し、各自治体が公表・宣言した地方公共団体 (都道府県・市町村) を指す。

た 行**[地球温暖化]**

人間の活動の拡大に伴う石油・石炭等の大量消費により、二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの排出量が大幅に増加し、地球に余分な熱が残ることにより地球の気温が上昇することをいう。干ばつや海面上昇、伝染病の発生など、人間や生態系などへの影響が懸念されている。

[地産地消]

地域で生産された農産物を地域で消費しようという活動を通じ、農業者と消費者を結びつける取り組み。輸送に係るエネルギーが少なく済むため、地球温暖化防止に役立つ。

ディーオー

[DO]

「Dissolved Oxygen」の略で、水中に溶けている酸素のこと。水の自浄作用や水中の生物にとって必要不可欠なものである。

ディーエックス

[DX]

「Digital Transformation」の略で、デジタル技術 (AI、クラウドなど) を活用し、製品・サービス・ビジネスモデル・組織・プロセス全体を根本から変革し、競争優位性を確立すること。

[適応策]

地球温暖化防止に向けた対策のうち、地球温暖化による環境変化の影響を回避・軽減する取り組み。

[トレードオフ]

あるものを得るために別のものを犠牲にしなければならない関係や状況のこと。

な 行**[ネットゼロ]**

温室効果ガスの排出量を省エネや再生可能エネルギーで「減らし」、減らしきれない分は森林吸収や技術で「除去」することで、排出量と吸収量の合計を実質的にゼロにすること。

[ネイチャーポジティブ]

日本語で「自然再興」と訳され、自然や生物多様性の損失を食い止めて、回復軌道に乗せて自然を豊かにするという、令和 22 (2030) 年を目標とした世界的な社会目標。

は 行

ビーエーユー

[BAU]

「Business As Usual」の略で、特別な対策を行わず、これまでの傾向のまま推移した場合の将来予測のこと。

ビーオーディ

[BOD]

「Biochemical Oxygen Demand」の略で、「生物化学的酸素要求量」と訳され、水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量を表す。河川の有機汚濁を測る代表的な指標となる。

[ペットマナー]

犬の放し飼い禁止 (条例)、リードの着用、排泄物・尿の処理 (持ち帰り・水洗い)、鳴き声のしつけが必須。生後 91 日以上の登録と狂犬病予防注射は義務であり、事故防止のため適切なしつけや、周辺住民への配慮が求められている。

ま 行

[メタネーション]

水素 (H_2) と二酸化炭素 (CO_2) を原料に、都市ガスの主成分であるメタン (CH_4) を人工的に合成すること。

第三次十日町市環境基本計画
十日町市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）
令和 8(2026)年 3 月発行